

令和 8 年度

特 別 選 抜

(学校推薦型選抜・総合型選抜)

学 生 募 集 要 項

教育学部・医学部・工学部・生命環境学部



目次

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
2. 入学者選抜日程	12
3. 募集人員（入学定員）	13
4. 出願資格	14
(1) 学校推薦型選抜Ⅰ	14
(2) 学校推薦型選抜Ⅱ	19
(3) 総合型選抜Ⅰ	21
(4) 総合型選抜Ⅱ	22
5. 出願手続	27
6. 障害等のある入学志願者の事前相談	35
7. 受験票	35
8. 選抜方法	36
(1) 選抜方法の概要	36
(2) 学校推薦型選抜Ⅰ【教育学部・医学部・工学部・生命環境学部】	38
(3) 学校推薦型選抜Ⅱ【医学部】	46
(4) 総合型選抜Ⅰ【工学部】	47
(5) 総合型選抜Ⅱ【工学部・生命環境学部】	49
9. 受験上の注意	53
10. 合格者発表	54
11. 入学手続	56
12. 入試情報の開示	57
13. 個人情報の取扱い	57
14. その他の留意事項	57
15. 入学試験における感染症対応	58
16. 甲府キャンパス案内図	59
17. 医学部キャンパス案内図	60

募集要項について

不測の事態（災害等）により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合があります。変更が生じた場合はホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

表記一覧表 この募集要項では、以下のとおり略語を使用します。

学 部 名 称	
学 部	表記
教育学部	教育
医学部	医学
工学部	工学
生命環境学部	生命

選 抜 名 称	
選抜区分	表記
一般選抜 前期日程	前期
一般選抜 後期日程	後期
学校推薦型選抜 I	推 I
学校推薦型選抜 II	推 II
総合型選抜 I	総 I
総合型選抜 II	総 II
私費外国人留学生入試	私費

大学入学共通テストの教科・科目			
教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理 歴史	地歴	歴史総合、日本史探究	日
		歴史総合、世界史探究	世
		地理総合、地理探究	地理
		地理総合／歴史総合／公共	地歴公
公民	公民	公共、倫理	倫
		公共、政治・経済	政経
数学	数	数学 I	数 I
		数学 I，数学 A	数 I A
		数学 II，数学 B，数学 C	数 II BC
理科	理	物理基礎／化学基礎 ／生物基礎／地学基礎	理基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓
情報	情	情報 I	情 I

個別学力検査等の教科・科目等			
教科等	表記	科目等	表記
国語	国	現代の国語	現国
		言語文化	言文
		論理国語	論国
		文学国語	文国
		国語表現	国表
		古典探究	古探
数学	数	数学 I	数 I
		数学 II	数 II
		数学 III	数 III
		数学 A	数 A
		数学 B	数 B
		数学 C	数 C
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
外国語	外	英語コミュニケーション I	英コ I
		英語コミュニケーション II	英コ II
		英語コミュニケーション III	英コ III
		論理・表現 I	論表 I
		論理・表現 II	論表 II
		論理・表現 III	論表 III
		実技	実
		小論文	小
		総合問題	総問
		面接	面
		その他	他

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

山梨大学の入学者受入方針(アドミッションポリシー)は、まず、本学が求める人物像と入学者に求める資質・能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質・能力、人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、「育成目標」は、本学の学位授与方針(ディプロマポリシー)、教育課程編成・実施方針(カリキュラムポリシー)との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。「入学者に求める資質・能力、人物像」には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。「試験区分別の入学者選抜の基本方針」は、入学者選抜において、入学者受入方針を具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。なお、「入学前に学習しておくことが期待される内容」も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校の学習の参考にしてください。

理念・目的

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

キャッチフレーズ

地域の中核、世界の人材

教育目標

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見だし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

求める人物像

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、学位授与方針に定められる資質・能力（コンピテンシー）をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、知的好奇心をもちカリキュラムに沿って継続的・主体的に学修し、卒業後は専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつ人を求めます。ただし、入学時において以下のような基礎的な資質能力を備えていることが必要です。

入学者に求める資質・能力*

- ・高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識。
- ・各教育プログラムの学修に必要な資質・能力(思考力・判断力・表現力など)。

*ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

(1) 教育学部

理念・目的

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的としています。

育成目標

豊かな人間性と教育文化を創造する教員の養成

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指しています。そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

求める資質・能力、人物像

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- 子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- 自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- 課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- 多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

入学前に学習しておくことが期待される内容

本学部における教育は、高等学校等で修得する各教科に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- 国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- 地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力
- 数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- 理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- 外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識・技能
- 情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- 家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- 音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- 美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- 保健体育については、保健体育とスポーツに関する基礎的な知識・技能

幼児教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、主として小学校教育を理解した幼稚園教員および幼児教育を理解した小学校教員の養成を行います。他者とともに学び合う機会を大切にしながら、子どもの思いや願いに寄り添ってその育ちを支える教育者の育成を目指しています。人間や社会といった広い視野から、子どもの発達や教育を考えることに関心があり、幼児期・児童期の子どもの教育に情熱を持った学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、教育や子どもの発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

障害児教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どものことを深く理解した上で、確かな実践的技術を駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、子どもの発達や学校教育などに関する事項について出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

言語教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「国語教育系」「英語教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、言語や教育に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。なお、国語教育系の志望者に英語教育について質問したり、英語教育系の志望者に国語教育について質問したりすることはありません。

生活社会教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的指導力を持つ教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「社会科教育系」「家政教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。「社会科教育系」では、法学、政治学、社会学、経済学、哲学・倫理学、歴史学、地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を志望する系（社会科教育系・家政教育系）ごとに課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文は、社会科教育系では私たちの社会と教育に関わる論題を、家政教育系では家庭生活と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、教職への意欲・適性を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（専門・総合学科推薦入試）家政教育系では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、家庭生活と教育に関わる論題を出題し、家政教育系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。面接では、家政教育系の教育活動に対する理解や、高等学校での家庭科に関する学習、教職への意欲・適性を評価します。

科学教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工

学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員、高等学校の工業の教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、小論文と面接を志望する系（数学教育系・理科教育系・技術教育系）ごとに課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。小論文では、科学（数学または理科または技術）や教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、コース・系の教育活動に対する理解、入学後の教育研究に対する意欲や教科（数学または理科または技術）に関する資質・能力を評価します。

学校推薦型選抜Ⅰ（専門・総合学科推薦入試）技術教育系では、口頭試問を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、口頭試問の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。口頭試問では、コース・技術教育系での学習の前提となる知識・技能・思考力・判断力・表現力を有しているかを判定するための学力評価（「英語」、「数学」、「理科」及び「課題研究」に関する内容を含みます。）を行うとともに、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

芸術身体教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化あるいは心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）では、実技検査と面接を志望する系（音楽教育系・美術教育系・保健体育系）ごとに課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」、「活動実績報告書」ならびに「活動実績報告書証明書類」（保健体育系の志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。実技検査は、志望する系に応じて音楽実技、美術実技、体育実技のいずれかを課し、志望する系での学習の前提となる知識・技能を評価します。特に保健体育系では、高等学校における競技経験を学校教育に活かせる資質・能力を評価します。面接では、志望する系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

やまなし小学校教育コース

育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、山梨県教育指針や教育事情を広い視野をもって学び、現代的教育課題の解決に向けて主体的に取り組む、実践的な教育力とグローバル化に対応した能力を兼ね備えた山梨県の小学校教員の養成を目指しています。そのため、小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭二種免許状、もしくは特別支援学校教諭一種免許状を取得します。カリキュラムの特徴として、全学共通教育科目（一般教養科目）や学部専門科目を学ぶことに加えて、1年次では附属小学校の授業観察など教育現場の現実を体験的に学びます。2年次からは学校教育分野におけるICT活用などについて学び、さらに3年次からは小学校教育の現代的課題やそれを読み解く理論や方法に関する科目を通じて学びを深めます。このことから、児童の心身の発達やそれを支える山梨県の教育に強い関心があり、山梨県の小学校教員を目指す学生を求めています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰ（山梨県の小学校教員志望者推薦入試）は、山梨県の小学校教員を志望する受験生を対象に、学校教育課程で募集人員を定めて実施するものです。本選抜では、小論文と面接を課します。「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、山梨県の小学校教員を志望する意思と展望が明確であるか等を評価します。小論文では、小学校教育や児童の発達過程に関わる論題を出題し、「やまなし小学校教育コース」での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。面接では、山梨県の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

(2) 医学部

理念・目的

深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身に付け、科学的根拠に基づいた医学的知識・技術を備え、地域医療及び国際医療に貢献できる医療人及び研究者を養成する。

育成目標

病める人の苦痛を自らの苦痛と感ずることができ、生涯にわたって医学的知識、技術の修得に努め、地域社会・国際社会の保健医療・福祉に貢献する人材及び疾患の原因解明や治療法の開発に寄与できる研究者の養成を目指しています。

求める資質・能力、人物像

医学部では、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- 将来、患者一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- 健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- 疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- 深い人間愛と高い倫理観、広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

医学科

育成目標と求める能力・人物像

医学科では、幅広い知識と高度な技術の獲得とともに、人格の涵養にも重点を置いたカリキュラムにより、次世代の医療を担う優れた臨床医及び医学研究者の養成を目指しています。医学・医療に将来、携わることへの強い意志と深い関心を持ち、総合的理解力、論理的思考力、問題解決能力を備え、他者とのコミュニケーション及び自己表現に優れるとともに、自己啓発のために生涯にわたって学ぶことを継続する意欲を持つ人を求めています。

入学前に学習しておくことが期待される内容

医学科で幅広い医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。特に、大学受験の理科学科目として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を修得していることを期待しています。外国語の修得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。また、多彩な人との豊かな人間関係を築くこと、様々な組織の中でチームワークによる活動の経験を持つことによって、医療人に求められる高い倫理観、信頼される人間性、広い社会的視野を涵養することを心掛けてください。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱ 本選抜の受験資格は、将来本学を含む山梨県の医療に貢献することを決意し、学校長が責任を持って推薦した者のみに与えられます。また第1段階選抜合格者に面接を課します。これにより情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考を行います。さらに、「調査書」など各教科の学習記録により、医学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願書類のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。「学校長推薦書」からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選考により本学の理念・目的に合致し、将来人間性豊かな医師または独創的な医学研究者に成長しうる学生であるかどうかを判断します。最終選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績から総合的にを行います。なお第1段階選抜は選抜方法・合否判定基準に基づき実施します。

看護学科

育成目標と求める能力・人物像

看護学科は、生命の尊厳を基本とし、看護の倫理性を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ看護専門職及び看護学研究者の育成を目的としています。そのため看護学科では、人間への深い関心と優れたコミュニケーション能力を備え、多様な健康問題を科学的に判断し解決できる能力を有し、保健・医療・福祉に貢献するために継続的に努力できる人を求めています。

入学前に学習しておくことが期待される内容

看護学科入学までに高等学校で学ぶ数学、理科、国語、英語、社会の内容を十分理解していることが必要です。加えて、主体的に学習する態度を身につけ、多様な世代の人々と豊かな人間関係を築き、国内外の社会情勢の変化に眼を向けてください。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰでは、出願書類に加え、受験者全員に面接を課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考を行います。また、「調査書」など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願書類のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。「学校長推薦書」からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選抜により将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。選抜は以上の結果に、小論文によるバランスのとれた判断力、論理的構想力、表現力等の評価を加え総合的にを行います。

(3) 工学部

理念・目的

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成します。

育成目標

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

工学部のキャッチフレーズ「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を指針とし、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材を養成します。

求める資質・能力、人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- 工学または各コースで学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- 工学を学ぶ上で必要となる数学、理科の基礎力を有していること
- 多様な情報を分析し、主体的に判断できること
- 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

工学科

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰでは、出願書類と面接、小論文により、本学科で学ぶ強い意欲を有した学生を求める入試を行います。「調査書」では、各教科・科目等の学習の記録において、バランスの良い基礎学力の定着の度合いを評価し、指導

上参考となる諸事項において、学科への関連の内容の記載を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、学科で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を確認するための参考資料として利用し、「学校長推薦書」はこれを補完するものとして活用します。これら出願書類は「面接」の資料としても用います。「小論文」では、志望するコースに関連した内容に基づいて、基礎的学力や興味・関心について評価します。

選抜単位として、性別に依らずに出願できる「一般枠」のほか、女性のみが出願できる「女子枠」を設けます。「女子枠」への出願者は、上記に加え、志望理由書（男女ともに輝ける社会を創造するために工学系出身者が貢献すべきことや、ダイバーシティの視点で大学で学ぶべきこと、身に付けたいことなどに関する考えについて記載）の提出も必要です。

総合型選抜Ⅰでは、口頭試問を含む面接により、理科の基礎学力と本学科で学ぶ強い意欲を有した学生を求める入試を行います。「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に「面接」の資料とします。「面接」では、目的意識、勉学意欲、論理的思考力などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性を重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。学力評価として、物理または化学に関する口頭試問を含む「面接」により、物理または化学に関する基礎知識や興味を評価します。

総合型選抜Ⅱでは、出願書類および大学入学共通テストにより、本学科に必要な基礎学力を有した学生を求める入試を行います。「調査書」では、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性を重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。学力評価として、「大学入学共通テスト（教科・科目数は型により異なる）」を課します。

クリーンエネルギー化学コース

育成目標と求める能力・人物像

人類の持続的な発展のためエネルギーの確保、環境の保全は最重要課題です。本コースでは、環境にやさしく高効率なエネルギー創製、利用に関する専門知識や技術を備えた、この最重要課題の解決に貢献できる技術者・研究者の養成をめざしています。本コースの卒業生は、クリーンエネルギー技術の社会実装実現を担う企業、たとえば自動車メーカー、電気機器メーカー、材料メーカーなど様々な分野において活躍することができます。そのために、次のような人を求めています。

- 化学のなかでも特にエネルギー材料、エネルギー変換・貯蔵技術などのクリーンエネルギー化学に対する強い興味をもつ人
- クリーンエネルギー化学の学問、研究を通じて人類の持続的な発展に寄与する意欲をもつ人
- 理科（特に化学）、数学、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲をもつ人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解しておく必要があります。クリーンエネルギー化学は化学を基礎として、物理・生物・地学を含めた広い視点から、エネルギーや環境などの諸問題に取り組む分野です。化学全般の内容を深く理解するとともに、理科全般の素養、さらには研究結果の解析に必要な数学、文献の読解やコミュニケーションに必要な国語・英語の基礎学力を備えていることを期待しています。

応用化学コース

育成目標と求める能力・人物像

応用化学を学んだ技術者は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本コースでは、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解しておく必要があります。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

土木環境工学コース

育成目標と求める能力・人物像

土木環境工学を学んだ技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本コースでは、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解している必要があります。土木環境工学は自然や社会との接点が大い分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

コンピュータ理工学コース

育成目標と求める能力・人物像

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本コースは、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解している必要があります。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

機械工学コース

育成目標と求める能力・人物像

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。そのために、次のような人を求めています。

- 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

メカトロニクスコース

育成目標と求める能力・人物像

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本コースでは、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。またメカトロニクスコースは、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

電気電子工学コース

育成目標と求める能力・人物像

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本コースは、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発電システム、スマートフォンなどのICT機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

(4) 生命環境学部

理念・目的

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

育成目標

自然と社会の共生科学の創生

本学の入学者受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

求める資質・能力、人物像

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- 高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- 自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理科学の基礎学力を身につけていること
- 社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- 文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- 実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- 教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

生命工学科

育成目標と求める能力・人物像

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること
- 論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- 入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

入学前に学習しておくことが期待される内容

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜では、出願書類と面接により、本学科で学ぶ強い意欲を有した学生を求める入試を行います。「調査書」と「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。面接においては、志望理由について、アドミッションポリシーを理解し、学科で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。また口頭試問で入学後の学習・研究の前提となる知識・思考力・判断力・表現力を有しているかを判定するための学力評価（理科および数学に関する内容を含みます。）を行います。

地域食物科学科

育成目標と求める能力・人物像

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学等）を十分に理解できていること
- 自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- 食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- 本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

入学前に学習しておくことが期待される内容

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科学科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

試験区分別の入学受入方針の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類と面接による第1段階選抜を実施し、最終選抜では大学入学共通テストで6教科8科目において基礎学力を評価します。「調査書」では、「育成目標と求める能力・人物像」に記載した観点から学科に対する適性を評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、実行力と課題解決能力、協働性、主体的に学習に取り組む態度を身につけているかを総合的に判定します。面接では、農と食への興味、思考力・判断力・表現力、および課題の認識力と設定力を評価します。

環境科学科

育成目標と求める能力・人物像

豊かな自然環境を次世代に残すために必要な知識や技術を学ぶことによって、自然と共生した持続可能な社会の形成に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、本学および生命環境学部で定めた入学受入方針に加えて、次のような人を求めています。

- 自然の仕組みや自然と人間との関係に興味があり、それを追究するための知識や方法を深く学ぶ意思のある人
- 環境に関わる学問的課題や社会的課題を自ら見出し、広い視野と深い思考力に基づき、他者と協働しながら課題解決に向けた取り組みができる人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身についていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

試験区分別の入学受入方針の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類と面接による第1段階選抜を実施し、最終選抜では大学入学共通テストで6教科8科目において基礎学力を評価します。「調査書」では、「育成目標と求める能力・人物像」に記載した観点から学科に対する適性を評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、実行力と課題解決能力、協働性、主体的に学習に取り組む態度を身につけているかを総合的に判定します。面接では、自然や社会への興味、思考力・判断力・表現力、および課題の認識力と設定力を評価します。

地域社会システム学科

育成目標と求める能力・人物像

経済・経営・行政に強い関心をもち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通じ地域社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- 科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

入学前に学習しておくことが期待される内容

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に関心や興味を寄せる習慣を身につけておくことを期待しています。

試験区分別の入学受入方針の基本方針

総合型選抜Ⅱでは、出願書類と面接による第1段階選抜を実施し、最終選抜では大学入学共通テストで6教科7科目又は5教科7科目において基礎学力を評価します。「調査書」では、「育成目標と求める能力・人物像」に記載した観点から学科に対する適性を評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、実行力と課題解決能力、協働性、主体的に学習に取り組む態度を身につけているかを総合的に判定します。面接では、入学後の学修に対する意欲、社会への興味、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します（口頭試問を課す場合があります）。

2. 入学者選抜日程

学校推薦型選抜

選抜区分	実施学部	募集要項公開予定時期	大学入学 共通テスト	出願 期間	第1段階 選抜発表	選抜 期日	合格者発表	入学 手続
I	・教育学部 ・医学部 【看護学科】 ・工学部 ・生命環境学部 【生命工学科】	2025 年 8 月上旬		2025 年 11/4(火) } 11/11(火)		2025 年 11/22(土)	2025 年 12/5(金)	2026 年 2/12(木) } 2/18(水)
II	・医学部 【医学科】			2025 年 12/11(木) } 12/18(木)	2026 年 2/6(金)	2026 年 2/9(月)	2026 年 2/11(水)	

総合型選抜

選 抜 区 分	実施学部	募集要項公 開予定時期	大学入学 共通テスト	出願 期間	第 1 段階 選抜期日	第 1 段階 選抜発表	選抜 期日	合格者 発表	入学 手続
I	・工学部	2025 年 8 月上旬		2025 年 9/26(金) } 10/3(金)			2025 年 10/18 (土)	2025 年 11/4(火)	2026 年 2/12(木) } 2/18(水)
II	・工学部		2026 年 1/17(土) ・ 1/18(日)	2025 年 12/11(木) } 12/18(木)			書類審査の ため 来学不要	2026 年 2/10(火)	
	・生命環境学部 【地域食物科学科】 【環境科学科】 【地域社会システム学科】		2025 年 11/4(火) } 11/11(火)	2025 年 11/22(土)	2025 年 12/5(金)				

* 全体に関する留意事項

- 欠員が生じた場合は、一般選抜で補充します。
- 入学式は 2026 年 4 月上旬を予定しております。

3. 募集人員（入学定員）

学部	課程・学科・コース・系			入学 定員	一般選抜		学校推薦型選抜							総合型選抜		私費	合計
					前期	後期	I	I (女子枠)	I (A)	I (B)	I (C)	II	I	II			
教育学部	学校教育課程	幼児教育コース		110	3	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7
		障害児教育コース			10	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	18
		言語教育コース	国語教育系		6	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	13
			英語教育系				-	-	2	-	-	-	-	-			
		生活社会教育コース	社会科教育系		6	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	14	
			家政教育系				-	-	3	1	-	-	-	-			
		科学教育コース	数学教育系		11	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	22	
			理科教育系				-	-	2	-	-	-	-	-	-		
			技術教育系				-	-	3	1	-	-	-	-	-		
		芸術身体教育コース	音楽教育系		5	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	16	
	美術教育系		-	-			2	-	-	-	-	-	-				
保健体育系	-		-	4			-	-	-	-	-	-					
やまなし小学校教育コース		-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	20			
計			110	41	17	-	-	30	2	20	-	-	-	-	110		
● 学校推薦型選抜Ⅰは、Ⅰ(A)教科別推薦入試、Ⅰ(B)専門・総合学科推薦入試、Ⅰ(C)山梨県の小学校教員志望者推薦入試の3つに区分して実施します。																	
医学部	医学科			105	-	90	-	-	-	-	-	15 以内	-	-	-	105	
	看護学科			60	30	5	25	-	-	-	-	-	-	-	-	60	
	計			165	30	95	25	-	-	-	-	15 以内	-	-	-	165	
	● 医学科の入学定員について、令和8年度医学部臨時定員増への申請を予定しています。申請し承認された場合は、学校推薦型選抜Ⅱの募集人員が変更となり、入学定員も変更となります。変更が生じた場合はホームページで公表します。																
工学部	工学科	クリーンエネルギー化学 コース		365	(18)	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33	
		応用化学コース			(18)	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33	
		土木環境工学コース			(30)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	46	
		コンピュータ理工学 コース			(47)	-	8	2	-	-	-	-	6	12	若干	75	
		機械工学コース			(32)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	48	
		メカトロニクスコース			(29)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45	
		電気電子工学コース			(29)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45	
		総合工学枠			(10)	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
	計			365	213	30	48	14	-	-	-	-	30	30	若干	365	
	● 前期日程においては複数コースの併願が可能です。従って()の人数は目安であり、コース毎の合格者数が増減することがあります。最終的に工学科全体で募集人員を確保する方向で調整します。																
● 総合工学枠合格者は2年進級時に第1希望または第2希望で所属コースが決定されます。																	
生命環境学部	生命工学科			50	30	8	12	-	-	-	-	-	-	-	若干	50	
	地域食物科学科			37	30	5	-	-	-	-	-	-	2	若干	37		
	ワイン科学特別コース				(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)			
	環境科学科			30	20	5	-	-	-	-	-	-	5	若干	30		
	地域社会システム学科			48	40	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	48		
	観光政策科学特別コース				(10)	(1)	-	-	-	-	-	-	(2)	-	(13)		
	計			165	120	23	12	-	-	-	-	-	10	若干	165		
	● ワイン科学特別コース志願者は前期日程において、地域食物科学科との併願が可能です。観光政策科学特別コース志願者は前期日程と後期日程において、地域社会システム学科との併願が可能です。																
● ()の人数は募集人員の内数であり目安です。																	
合 計				805	404	165	85	14	30	2	20	15 以内	30	40	若干	805	

4. 出願資格

(1) 学校推薦型選抜 I

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す・課さないを問わず）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

教育学部（A 教科別推薦入試）

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(7)すべてに該当する方

- 1校から推薦できる人数は、幼児教育コース及び障害児教育コースはコースごとに1人とし、言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コースは系ごとに1人とします。

- (1) 全国の国公立高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含む。）を2025年度中に卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後、2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (4) 高等学校等の学業成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況等が下表の範囲の方
- (5) 本学部の学生となるのに十分な適性と、教員になりたいという強い意欲をもった方で、学校長が責任をもって推薦できる方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方
- (7) 合格した場合は、本学が実施する入学前教育を受講することを確約できる方*

*合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしませんが、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。

コース・系		対象となる志願者の範囲
幼 児 教育コース		全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上
障 害 児 教育コース		全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上
言 語 教育コース	国 語 教育 系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上、 かつ 国語の学習成績の状況が <u>4.0</u> 以上
	英 語 教育 系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上、 かつ 外国語の学習成績の状況が <u>4.0</u> 以上
生活社会 教育コース	社会科教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上、 かつ 地理歴史及び公民のそれぞれの学習成績の状況が <u>4.0</u> 以上
	家政教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上

科学教育コース	数学教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上、 かつ 数学の学習成績の状況が <u>4.0</u> 以上、 かつ 数学Ⅲを履修済み又は履修中であること
	理科教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上、 かつ 数学及び理科のそれぞれの学習成績の状況が <u>4.0</u> 以上
	技術教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上
芸術身体教育コース	音楽教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上
	美術教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上
	保健体育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上

教育学部（B 専門・総合学科推薦入試）

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(8)すべてに該当する方

- 1校から推薦できる人数は、系ごとに1人とします。

- (1) 全国の国公立高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含む。）を2025年度中に卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後、2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (4) 家政教育系……高等学校等の家庭に関連する学科等又は総合学科において、家庭に関する科目を含め、職業に関する科目を14単位以上（家庭基礎、家庭総合を含む。）履修した方又は履修見込みの方
技術教育系……高等学校等の農業、工業、情報に関連する学科又は総合学科において、農業、工業、情報に関する科目を含め、職業に関する科目を20単位以上履修した方又は履修見込みの方
- (5) 高等学校等の学業成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況等が下表の範囲の方
- (6) 本学部の学生となるのに十分な適性と、教員になりたいという強い意欲をもった方で、学校長が責任をもって推薦できる方
- (7) 合格した場合は、入学することを確約できる方
- (8) 合格した場合は、本学が実施する入学前教育を受講することを確約できる方*

*合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしませんが、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。

コース	系	対象となる志願者の範囲
生活社会教育コース	家政教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上 かつ 「家庭」に関する科目の学習成績の状況が <u>4.0</u> 以上

科 学 教育コース	技術教育系	全体の学習成績の状況が <u>3.5</u> 以上 かつ「農業」、「工業」又は「情報」に関する科目の学習成績の状況が <u>4.0</u> 以上
-----------	-------	---

教育学部（C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試）

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(7)すべてに該当する方

- 1校から推薦できる人数は、5人までとします。

- (1) 全国の国公私立高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含む。）を2025年度中に卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後、2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (4) 高等学校等の学業成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況等が下表の範囲の方
- (5) 本学部の学生となるのに十分な適性と、山梨県の小学校教員になりたいという強い意欲をもった方で、学校長が責任をもって推薦できる方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方
- (7) 合格した場合は、本学が実施する入学前教育を受講することを確約できる方*

*合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしませんが、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。

コース	対象となる志願者の範囲
やまなし小学校教育コース	全体の学習成績の状況が <u>4.0</u> 以上

医学部（看護学科）

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(8)すべてに該当する方

- 1校から推薦できる人数に制限はありません。

- (1) 2023年度中、2024年度中又は2025年度中に全国の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校（後期課程）を卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年度中、2024年度中又は2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後、2023年度中、2024年度中又は2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (4) 高等学校等の学業成績が優秀で、「調査書」の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の方
- (5) 本学部志望の動機が明確で、将来看護学の分野で社会に貢献したいという意欲のある方
- (6) 課外活動等にも積極的に参加し、充実した高等学校等の学校生活を送った方で、学校長が責任をもって推薦できる方
- (7) 合格した場合は、入学することを確約できる方
- (8) 合格した場合は、本学が実施する入学前教育を受講することを確約できる方*

*合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしませんが、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。

工学部（一般枠）

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(7)すべてに該当する方

- 1校から推薦できる人数に制限はありません。
- 出願できるのは1コースのみです。

- (1) 2024年度中又は2025年度中に全国の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校（後期課程）を卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2024年度中又は2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後、2024年度中又は2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (4) 高等学校等の成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況が下記の方
全体の学習成績の状況：3.8以上、又は理科の学習成績の状況：4.0以上
- (5) 志望コースの学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方
- (7) 合格した場合は、本学が実施する入学前教育を受講することを確約できる方*

*合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしませんが、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。

工学部（女子枠）

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(7)すべてに該当する女子の方

- 1校から推薦できる人数に制限はありません。
- 一般枠との併願が可能です。
- 出願できるのは1コースのみです。

- (1) 2024年度中又は2025年度中に全国の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校（後期課程）を卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2024年度中又は2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後、2024年度中又は2025年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (4) 高等学校等の成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況が下記の方
全体の学習成績の状況：3.8以上、又は理科の学習成績の状況：4.0以上
- (5) 志望コースの学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方
- (7) 合格した場合は、本学が実施する入学前教育を受講することを確約できる方*

*合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしませんが、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。

生命環境学部（生命工学科）

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(7)すべてに該当する方

- 1校から推薦できる人数に制限はありません。

- (1) 全国の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校（後期課程）を卒業した方又は 2025 年度中に卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方又は 2025 年度中に修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は 2025 年度中に修了見込みの方
- (4) 高等学校等の成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況が下記の方
全体の学習成績の状況：3.8 以上、又は理科の学習成績の状況：4.0 以上
- (5) 生命工学科の学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方
- (7) 合格した場合は、本学が実施する入学前教育を受講することを確約できる方*

*合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしませんが、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。

(2) 学校推薦型選抜 II

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す・課さないを問わず）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

医学部（医学科）

次の各号のすべてに該当する方

- 1校から推薦できる人数に制限はありません。
- (1) 2024年度中又は2025年度中に山梨県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）を卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 令和8年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方*
- (3) 高等学校における「調査書」の学習成績概評が「A」である方
- (4) 医師免許取得後、15年の期間内で9年間（初期臨床研修及び専門研修期間を含む）、キャリア形成プログラムに基づき、山梨県内の医療機関において診療に従事することを確約できる方
- (5) 山梨県医師修学資金貸与制度第二種の利用を確約できる方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方

* 大学入学共通テスト 本学が指定する教科・科目

令和8年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和8年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

各科目の配点については、46ページを参照してください。

- 英語リスニング免除者については、英語リーディングの得点を英語リスニングの得点とみなして利用します。

選抜区分	医学部 医学科（学校推薦型選抜Ⅱ）										
共通テストの教科グループ	国	地歴		公民	数①	数②	理	外			情
科目名	国	日	世 地 理	倫 政 経	数 Ⅰ A	数 Ⅱ B C	物 化 生	英			情 Ⅰ
科目数	1	1			1	1	2	1			1
注意事項	【地歴、公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 指定する科目を「第1解答科目」として選択していない場合は、出願無資格者となります。 【外国語】英語は、リーディング(100)+リスニング(100)=計(200)を満点とした得点に換算します。										

山梨県医師修学資金貸与制度

山梨県医師修学資金貸与制度は、将来、山梨県内の公立病院等の医師として従事しようとする医学生に対して、山梨県が修学資金を貸与する制度です。詳細は山梨県のホームページで確認してください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/imuka/ishikakuho/kakuhojigyo/shugakushikin.html>

- ① 対象
医学部医学科入学者
- ② 貸与額
第一種：月額 50,000 円 / 第二種：月額 130,000 円
(学校推薦型選抜 II の入学者は、全員第二種になります。)

③ 返還免除

次の条件を満たした場合、修学資金及び当該修学資金に付された年 10%の利息（以下「修学資金」という。）の返還は全額免除になります。満たさない場合は、修学資金等全額を一括返還することになります。

(1) 共 通

- ・卒業後、2 年以内に医師免許を取得すること。
- ・医師免許取得後、山梨県内の病院が実施する 2 年間の初期臨床研修を修了すること。

(2) 第 一 種

- ・医師免許取得後、6 年の期間内に 3 年間、山梨県内の公立病院等において医師の業務に従事すること。（義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修を修了すること。）

(3) 第 二 種

- ・医師免許取得後、貸与期間の 2 分の 5 の期間内に、貸与期間の 2 分の 3 の期間（6 年間貸与を受けた場合、15 年の期間内に 9 年間）山梨県地域医療支援センター*¹で調整後に知事が指定する山梨県内の特定公立病院等*²において診療に従事すること。（義務年限のうち、山梨県内の病院が実施する臨床研修（専門研修を受ける場合は、山梨県内の病院が実施する臨床研修及び専門研修）を修了すること。）

*1 山梨県地域医療支援センターは、本人のキャリア形成支援と一体的に県内の医師確保を支援するため、医学部附属病院と山梨県が共同で設置している機関です。

*2 知事が指定する病院はキャリア形成プログラムに基づきキャリア形成等を考慮して決定しますが、一定期間（4 年程度）県内の医師不足地域において医師として従事する必要があります。

④ 留意事項

- ・修学資金等を一括返還しても、山梨県内で医師として診療に従事する期間は短縮されません。
- ・学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、医師修学資金貸与制度第二種の貸与を受け、医師修学資金貸与制度の規定及びキャリア形成プログラムに基づき、一定期間必ず山梨県内の医療機関において診療に従事しなければなりません。
- ・学校推薦型選抜Ⅱの入学者は、医師国家試験合格後、山梨県地域枠等医師キャリア形成プログラムに基づく契約を山梨県との間で締結します。県内就業に関する義務違反が確定した場合は、同契約に基づき違約金をお支払いいただきます。
- ・山梨県医師修学資金貸与制度とは別に、大学在籍中は、継続して山梨県地域枠等医師キャリア形成卒前支援プランに参加していただきます。

⑤ お問い合わせ先

山梨県 福祉保健部 医務課 医療企画担当（TEL：055-223-1480）

⑥ 申 込 先

医学部キャンパス：医学域事務部学務課学生グループ（TEL：055-273-9346）

(3) 総合型選抜 I

工 学 部

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(7)すべてに該当する方

- 出願できるのは1コースのみです。

- (1) 2025 年度中に全国の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校（後期課程）を卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025 年度中に修了した方又は修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3 年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後、2025 年度中に修了見込みの方
- (4) 高等学校等の成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況が下記の方
全体の学習成績の状況：3.8 以上、又は数学の学習成績の状況：4.0 以上
- (5) 志願コースの学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方
- (7) 合格した場合は、本学が実施する入学前教育を受講することを確約できる方*

*合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしませんが、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。

(4) 総合型選抜 II

工 学 部

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(6)すべてに該当する方

- 出願できるのは1コースのみです

- (1) 2023年度以後に全国の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校（後期課程）を卒業した方又は2025年度中に卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年度以後に修了した方又は2025年度中に修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後かつ、2023年度以後に修了した方又は2025年度に修了見込みの方
- (4) 令和8年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方*
- (5) 志願コースの学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方

* 大学入学共通テスト 本学が指定する教科・科目

令和 8 年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和 8 年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

各科目の配点については、51 ページを参照してください。

- 英語リスニング免除者については、英語リーディングの得点を英語リスニングの得点とみなして利用し、志望するコースで定める外国語の配点を満点とした得点に換算します。

選抜区分		工学部 工学科 型の一覧（総合型選抜Ⅱ）														
共通テストの教科グループ		国	地歴			公民		数①	数②	理			外		情	
科目名								数Ⅰ A	数Ⅱ B C	物	化	生	英			
科目数	㊦	-	-					(1)	(1)	-	(1)	1	(1)	-	(1)	-
	㊧	-	-					-	-	-	2		-	-	-	-
	㊨	-	-					-	-	-	1	1	-	-	-	-
	㊩	-	-					1	1	-			-		-	-
	㊪	-	-					1	1	-	2		-	1	-	-
	㊫	-	-					1	1	-	1	1	-	1	-	-
注意事項		● 各コース指定の型に合致するように科目を選択してください。 ● <u>受験科目の選択は以下の内容を必ず確認してください。</u>														
		㊦ 理科重視型（化学） 化は必須。数ⅠA・数ⅡBC・物・生・英の5科目から、少なくとも2科目を選択してください。3科目以上を受験した場合は合計得点の最も高くなる2科目を大学側で採用します。														
		㊧ 理科重視型（一般） 物・化・生の3科目から、2科目を選択してください。														
		㊨ 理科重視型（物理） 物 は必須。化・生の2科目から、1科目を選択してください。														
		㊩ 数学重視型 数ⅠA・数ⅡBC 必須。														
		㊪ 英数理バランス型（一般） 数ⅠA・数ⅡBC・英は必須。物・化・生は3科目から、2科目を選択してください。														
		㊫ 英数理バランス型（物理） 数ⅠA・数ⅡBC・物・英は必須。化・生は2科目から、1科目を選択してください。														
【外国語】英語は、リーディング(160)+リスニング(40)=計(200)として合算し、配点（51 ページ参照）を満点とした得点に換算します。																

選抜区分	工学部 工学科 クリーンエネルギー化学コース（総合型選抜Ⅱ） 工学部 工学科 応用化学コース（総合型選抜Ⅱ）														
共通テストの 教科グループ	国	地歴			公民		数①	数②	理			外		情	
科 目 名							数Ⅰ A	数Ⅱ B C		物	化	生	英		
科 目 数	⑦	-	-			(1)		(1)	-	(1)	1	(1)	-	(1)	
注意事項	● ⑦ 理科重視型（化学） ● 型に合致するよう科目を選択してください。														

選抜区分	工学部 工学科 土木環境工学コース（総合型選抜Ⅱ）																
共通テストの教科グループ	国	地歴			公民		数①	数②	理			外		情			
科目名										物	化	生					
科目数	①	-	-				-	-	-	2		-	-		-		
注意事項	● ①理科重視型（一般） ● 型に合致するよう科目を選択してください。																

選抜区分		工学部 工学科 コンピュータ理工学コース（総合型選抜Ⅱ）											
共通テストの教科グループ		国	地歴		公民	数①	数②	理			外		情
科 目 名						数Ⅰ A	数Ⅱ B C	物	化	生	英		
科 目 数	㊥	-	-			1	1	-			-		-
	㊦	-	-			1	1	-	2	-	1		-
注意事項		● ㊥数学重視型、㊦英数理バランス型（一般） ● 少なくとも1つの型に合致するよう科目を選択してください。また、複数の型の選抜対象となり得ます。 ● ㊥数学重視型と㊦英数理バランス型（一般）で同点者がいる場合は、㊥数学重視型の者を上位者とします。											

選抜区分	工学部 工学科 機械工学コース（総合型選抜Ⅱ）																	
共通テストの教科グループ	国	地歴			公民		数①	数②	理			外		情				
科目名							数Ⅰ A	数Ⅱ B C		物	化	生	英					
科目数	㊦	-	-				1	1	-	1		1	-	1			-	
注意事項	● ㊦英数理バランス型（物理） ● 型に合致するよう科目を選択してください。																	

選抜区分		工学部 工学科 メカトロニクスコース（総合型選抜Ⅱ） 工学部 工学科 電気電子工学コース（総合型選抜Ⅱ）											
共通テストの教科グループ		国	地歴		公民	数①	数②	理			外		情
科目名						数Ⅰ A	数Ⅱ B C	物	化	生			
科目数	㊦	-	-			-	-	-	1	1	-	-	-
	㊧	-	-			1	1	-			-	-	
注意事項		● ㊦理科重視型（物理）、㊧数学重視型 ● 少なくとも1つの型に合致するよう科目を選択してください。また、複数の型の選抜対象となり得ます。 ● ㊦理科重視型（物理）と㊧数学重視型で同点者がいる場合は、㊦理科重視型（物理）の者を上位者とします。											

生命環境学部

次の(1)～(3)いずれかに該当し、かつ(4)～(6)すべてに該当する方

- 出願できるのは1学科のみです。

- (1) 2026年3月31日までに全国の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校（後期課程）を卒業した方又は卒業見込みの方
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方又は2025年度中に修了見込みの方
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は2025年度中に修了見込みの方
- (4) 令和8年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方*
- (5) 「調査書」の全体の学習成績の状況が3.8以上の方
- (6) 合格した場合は、入学することを確約できる方

* 大学入学共通テスト 本学が指定する教科・科目

令和8年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和8年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

各科目の配点については、52ページを参照してください。

- 英語リスニング免除者については、英語リーディングの得点を英語リスニングの得点とみなして利用します。

選抜区分	生命環境学部 地域食物科学科（総合型選抜Ⅱ）																			
共通テストの教科グループ	国	地歴			公民			数①		数②	理			外				情		
科目名	国	日	世	地理	地歴公		倫	政経	数Ⅰ	数ⅠA	数ⅡBC	物化生			英	独	仏	中	韓	情Ⅰ
科目数	1	1						1		1	2			1				1		
注意事項	【地歴、公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外国語】英語を選択した場合は、リーディング(150)+リスニング(50)=計(200)を満点とした得点に換算します。																			

選抜区分	生命環境学部 環境科学科（総合型選抜Ⅱ）																			
共通テストの教科グループ	国	地歴			公民			数①	数②	理			外			情				
科目名	国	日	世	地理	地歴公	倫	政経	数Ⅰ	数ⅠA	数ⅡBC	物	化	生	地	英	独	仏	中	韓	情Ⅰ
科目数	1	1						1	1		2				1				1	
注意事項	【地歴、公民】1科目のところ2科目受験した場合は「第1解答科目」をその成績とします。 【外国語】英語を選択した場合は、リーディング(150)+リスニング(50)=計(200)を満点とした得点に換算します。																			

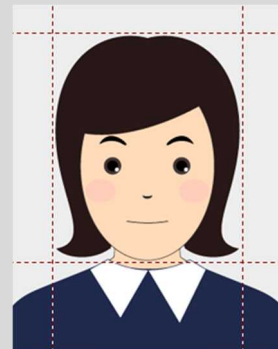
選抜区分	生命環境学部 地域社会システム学科（総合型選抜Ⅱ） ＊観光政策科学特別コースを含む																		
共通テストの 教科グループ	国	地歴		公民		数①	数②	理			外			情					
科 目 名	国	日	世 地 理	地 歴 公	倫 政 経	数 Ⅰ	数 Ⅰ A	数 Ⅱ B C	理 基	物	化	生	地	英	独	仏	中	韓	情 Ⅰ
科 目 数	1	(1)		(1)		1		1	(1又は2)			1						1	
注意事項	● ()は選択科目です。地歴・公民・理の3教科から2科目を選択してください。3科目以上を受験した場合は「得点の高い2科目」をその成績とします。ただし、「地歴」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目のうち得点の高い1科目のみを成績として利用します。 【地 歴】「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合において、「「地理総合」及び「歴史総合」」の内容の問題を選択解答した場合は、「地歴」の1科目とみなします。 【公 民】「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合において、「「地理総合」及び「公共」」若しくは「「歴史総合」及び「公共」」の内容の問題を選択解答した場合は、「公民」の1科目とみなします。 【外国語】英語を選択した場合は、リーディング(150)+リスニング(50)=計(200)を満点とした得点に換算します。																		

5. 出願手続

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 のすべてを完了してください。いずれか 1 つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

① 事前準備（用意するもの）

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF ファイルを開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Acrobat Reader を推奨）
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター
自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願書類
- 市販の角形 2 号封筒（24 cm×33.2 cm）
- 証明写真（顔写真）データ



（良い顔写真の例）

試験当日の本人確認で利用しますので、明暗以外は無加工の写真を準備してください。

なお、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影した写真を準備してください。

- ・証明写真機（写真データのダウンロードができるもの）やデジタルカメラ、スマートフォン、タブレットで撮影したもの。
- ・試験日 3 ヶ月以内に単身で撮影したもの。
- ・全体に対する顔の比率は、上下左右が上記の例の点線程度になっているもの。
- ・カラー写真、上半身・正面、無帽、無背景、枠なしであること。
- ・写真サイズは、縦 800px×横 600px 以上（縦横比 4：3）、3MB 以内であること。
- ・ファイル形式は、JPEG であること。（ファイル拡張子は jpg）

② メールアドレスの登録

Web 出願サイト (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後メールが届きますので、本文の案内に従い 30 分以内に次の手順に進んでください。



③ 利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を用漢字（JIS 第 1 水準・第 2 水準）で登録してください。

出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

④ 出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト>マイページ>新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト>マイページ>検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、原則、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で教学支援部入試課へ郵送してください。

⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。

(出願期間終了日から土・日・祝日を除く 3 日後までにメールで通知します。(別に指定する場合を除く))

出願に関する留意事項

- 出願内容（Web 出願情報・出願書類等）に不備がある場合は受理しないことがあります。
- 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願内容の変更は認めません。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願書類の返却はできません。

(1) 出願期間

総Ⅰ (工学部)

2025 年 9 月 26 日 (金) ～ 2025 年 10 月 3 日 (金) 16 時 30 分【必着】

推Ⅰ (教育学部・医学部(看護学科)・工学部・生命環境学部(生命工学科))**総Ⅱ** (生命環境学部(生命工学科以外))

2025 年 11 月 4 日 (火) ～ 2025 年 11 月 11 日 (火) 16 時 30 分【必着】

推Ⅱ (医学部(医学科))**総Ⅱ** (工学部)

2025 年 12 月 11 日 (木) ～ 2025 年 12 月 18 日 (木) 16 時 30 分【必着】

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 のすべてを完了してください。いずれか 1 つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料：17,000 円

- Web 出願サイトの「検定料の支払い」で、次の①～④から支払方法を選択して下さい。
①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関 ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング
- クレジットカード以外の支払方法は入金確認に 2 時間程度かかります。(入金が確認されないと次の出願書類の印刷に進むことができませんので注意してください。)
- すべての支払方法において手数料は志願者負担になります。
- 海外からの支払方法はクレジットカードのみです。
- 出願受理後は、下記「* 入学検定料の返還」の対象者を除きいかなる理由があっても既納の入学検定料は返還できません。

* 入学検定料の免除

- 対 象 者 …………… 次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成 28 年熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年北海道胆振東部地震、令和元年台風第 15 号及び第 19 号、令和 2 年 4 月以降に発生した災害救助法の適用となる災害

- 必要書類 …………… ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) を確認してください。
- 受付期間 …………… 出願期間開始日の 1 ヶ月前～出願期間開始日の前日
- お問い合わせ先 …… 山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

TEL：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

* 入学検定料の返還

- 対 象 者 …… 次の方に限り、入学検定料を返還します。
 - ・ 出願が受理されなかった方には、入学検定料を返還します。
 - ・ 出願受理後に、大学入学共通テストの科目不足等により、出願無資格者であることが判明した方には、入学検定料のうち 13,000 円を返還します。
 - ・ 学校推薦型選抜Ⅱの第 1 段階選抜不合格者には、入学検定料のうち 13,000 円を返還します。(総合型選抜Ⅱの第 1 段階選抜不合格者には、入学検定料は返還しません。)
- 請求方法 …… 対象者に別途通知します。

(3) 出願書類等

【学校推薦型選抜・総合型選抜】出願期間中に提出する書類

☆の様式は必ず本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）からダウンロードしてください。

出願書類	摘 要（原則 A4 サイズで提出すること）
調査書	【全員】 ・学校長等が文部科学省所定の様式により作成し、学校長等の職印及び記載責任者の印を押印の上、厳封したもの ・複数枚の場合は、左上をホッチキス止めすること ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）等で学習指導要領によらない特別教育課程の編成を行っている場合には、調査書備考欄又は別紙に代替(対応)科目名がわかるように記入してください。 ● 発行年月 ・医学 推Ⅰ・推Ⅱ は、2025 年 10 月 1 日以降に作成したもの ・上記以外の学部・選抜は、発行年月は問わない ● 調査書が提出できない場合 ・保存年限の超過、廃校、被災、その他の事情により調査書が提出できない場合は、①卒業証明書 及び ②成績証明書【厳封】又は単位取得証明書【厳封】を提出すること ・上記①又は②が提出できない場合は、出身学校所管の教育委員会、知事又は出身高等学校学校長等が作成した上記①又は②の証明書が発行できない旨の理由書を提出すること（様式任意、A4 で作成） ・調査書が提出できない旨の理由書では出願を受理することはできません
☆学校長推薦書	教育 推Ⅰ 医学 推Ⅰ・推Ⅱ 工学 推Ⅰ 生命 推Ⅰ ・学校長等が本学所定の様式により作成し、厳封したもの ・各学部で様式が異なるので注意すること
☆多面的・総合的な評価のための申告書	教育 推Ⅰ 医学 推Ⅰ・推Ⅱ 工学 推Ⅰ・総Ⅰ・総Ⅱ 生命 総Ⅱ ・本学所定の様式により志願者が作成したもの ・教育学部は様式が異なるので注意すること
☆志望理由書	工学 推Ⅰ 【女子枠に志願する方】 ・本学所定の様式により志願者が作成したもの
指定した楽譜	教育 推Ⅰ 【芸術身体教育コース 音楽教育系】 ・詳細は「実技検査の内容・注意事項」（44 ページ）を確認すること ・1 枚目の左上に氏名、曲名、楽器名（声楽選択者は「声楽」）を記載すること
☆活動実績報告書 ならびに活動実績 報告書証明書類	教育 推Ⅰ 【芸術身体教育コース 保健体育系】 ・活動実績報告書においては、作成要領に基づき、本学所定の様式により作成すること ・活動実績報告書証明書類においては、本要項に記載の作成要領を確認し、十分注意のうえ、作成すること。
☆誓約書	医学 推Ⅱ ・志願者及び保護者が自筆で作成すること
住民票	【国籍が日本国以外の方】 ・住居地の市区町村長が交付する国籍、在留資格及び在留期間が記載されたもの
戸籍抄本	【改姓等により証明書等の氏名が異なる方】

【学校推薦型選抜Ⅱ・総合型選抜Ⅱ(工学)】出願期間中に登録する情報

登録情報	摘 要
大学入学共通テスト 成績請求情報	医学 推Ⅱ 工学 総Ⅱ ・ 本学の Web 出願サイト上で成績請求情報を登録すること (Web 方式) ・ 入力する成績請求情報は大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上で確認できます。

【総合型選抜Ⅱ(生命)】第1段階選抜合格発表後に登録する情報

登録情報	摘 要
大学入学共通テスト 成績請求情報	生命 総Ⅱ (第1段階選抜合格者) ● 登録方法 ・ 本学 Web 出願サイトのマイページから、画面の案内に従って成績請求情報を登録してください。(Web 方式) ・ 入力する成績請求情報は大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上で確認できます。 ● 登録期間 2025 年 12 月 10 日 (水) ～ 2025 年 12 月 18 日 (木) 16 時 30 分まで ・ 提出方法に従い、期間内に必ず登録してください。 ・ 生命 総Ⅱ の第1段階選抜の不合格者が成績請求情報を登録しても、最終選抜の対象とはなりません。

【学校推薦型選抜・総合型選抜】出願書類等一覧表

◎ 全員提出、○ 一部学科・コース等のみ提出、△ 該当者のみ提出、☆ 全員本学の web 出願サイトに登録、－ 提出不要

学 部	選 抜 区 分	調 査 書	学 校 長 推 薦 書	多 面 的 ・ 総 合 的 な 評 価 の た め の 申 告 書	指 定 し た 楽 譜	活 動 実 績 報 告 書 な ら び に 活 動 実 績 報 告 書 証 明 書 類	志 望 理 由 書	誓 約 書	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 成 績 請 求 情 報	住 民 票	戸 籍 抄 本
教育	推Ⅰ	◎	◎	◎	○	○	-	-	-	△	△
医学	推Ⅰ	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	△	△
医学	推Ⅱ	◎	◎	◎	-	-	-	◎	☆	△	△
工学	推Ⅰ	◎	◎	◎	-	-	△	-	-	△	△
工学	総Ⅰ	◎	-	◎	-	-	-	-	-	△	△
工学	総Ⅱ	◎	-	◎	-	-	-	-	☆	△	△
生命	推Ⅰ	◎	◎	-	-	-	-	-	-	△	△
生命	総Ⅱ	◎	-	◎	-	-	-	-	☆*	△	△

*生命環境学部総合型選抜Ⅱでは、共通テストの受験票が発行された後、本学の Web 出願サイトに登録してください (第1段階選抜合格者のみ)。

* 出願書類の作成方法

- 作成方法は、指定がないものについては自筆・パソコンを問いません。

- 自筆の場合は、ボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、楷書で記入の上、原本（写しは不可）を提出してください。また、訂正する場合は、修正液等の使用や紙面の削り取りはせず、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。
- 文字色は黒色とします。数字は原則算用数字を用いてください。
- 本学所定の様式は必ず該年度の募集要項の巻末に記載した様式（本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に掲載）の Word または PDF データを使用してください。過年度の様式等を使用した場合、再提出をお願いする場合があります。

* 入学者選抜における生成 AI の取扱いについて

本学では、学生に対して、ChatGPT などの生成 AI について使用上の注意喚起を行っています。

生成 AI はユーザからの問いに対して常に正しい回答を返すわけではありません。また、生成 AI はインターネット上のデータを学習して文章等を生成するため、生成された文章等を自分の作成物として扱うことは、剽窃や著作権侵害のリスクがあります。さらに生成 AI に入力した情報は、AI の学習に利用される可能性もあり、意図せず個人情報や研究情報の漏洩につながる恐れがあります。

入学者選抜において、出願時に自ら作成して提出する書類（多面的・総合的な評価のための申告書、志望理由書、研究計画書など）は、本学への適性や能力を確認するために大変重要なものです。よって、生成 AI により生成された文章等をそのまま使用することは一切認められません。判明した場合は、不正行為とみなし合格を取り消します。

出願書類の作成に当たっては、本学のアドミッションポリシーを確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、受験生が自分で考え作成した成果物を提出してください。

* 多面的・総合的な評価のための申告書

本申告書は、志願者に関する多面的な情報が提供されることを目的としておりと同時に、志願者が大学で学ぶ理由を見つめ直し、自らの進路について主体的に考える機会を増やすことで、大学での学修意欲を高めるために課すものです。

- 様式は必ず本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）からダウンロードして該年度の募集要項の巻末に記載した様式の Word または PDF データを使用してください。なお、教育学部のみ様式が異なりますので、注意してください。
- 必ず志願者本人が作成してください。図表等を用いても構いません。
- 他の出願書類と整合性が保たれている内容を記入してください。
（虚偽の記載が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。）
- 各項目の記載内容に補足・補完する程度の重複があっても構いません。
- 本学所定の様式（A 4 片面 1 枚）に収まるように記入してください。なお、文字数に指定はありません。

(4) 出願書類の提出方法

- ① Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト（提出不要）」で、出願書類が全て揃っているか最終確認してください。
- ② Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「封筒貼付票」を市販の角形 2 号封筒に貼付の上、出願書類を封入してください。

- ③ 学校推薦型選抜に出願する場合は、志願者ごとの封筒を（1名の場合でも）学校で志望学部と選抜ごとに別封筒に取りまとめて封入した上で、高等学校等から発送してください。（一般枠と女子枠については、区別する必要はありません。）

なお、別封筒の表に、「〇〇学部 学校推薦型選抜〇 〇名願書在中（例：教育学部 学校推薦型選抜Ⅰ 5名願書在中）」と朱書きしてください。

また、志願者リスト（様式任意：学校名、志願者氏名、志願先（学科・コース等）を記載したもの）を（1名の場合でも）作成し、同封してください。

- ④ 総合型選抜に出願する場合は、学校で取りまとめる必要はありませんので、送付先に個別でお送りください。
- ⑤ 出願期間内に本学へ到着するよう、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。

（山梨大学教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL：055-220-8046）

*** 郵送では間に合わない場合**

出願最終日の 9:00～12:00【厳守】に限り、教学支援部入試課（甲府キャンパス総合研究棟 2 階）において出願書類の持参を受け付けます。

（この日時以外に持参しても、出願書類を受け取ることはできません。）

6. 障害等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する方で、病気・負傷や障害等のために、受験上の配慮を必要とする方は、出願に先立ち、本学と事前相談を行ってください。

相談方法等は、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3794>) を参照してください。

受付期間：出願期間開始日の1ヵ月前から出願期間開始日の前日まで

- 受験上の配慮を希望する方は、原則として受付期間内にご相談ください。
- 希望内容によっては期間内にご相談いただいた場合でも対応できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 受付期間を過ぎて申請された場合、提供できる受験上の配慮が限られていきますので、早急にご相談ください。

また、学生サポートセンターでは、障害のある学生の修学相談や支援調整を行なっています。以下の窓口では、入学後に修学上の配慮を希望している方の事前相談に応じています。

お問い合わせ先

学生サポートセンター アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

〒400-8510 甲府市武田 4-4-37 B1 号館

ホームページ：<https://www.sp-needs.yamanashi.ac.jp/>

E-mail：sp-needs@yamanashi.ac.jp

電話：055-220-8467

7. 受験票

本学からの受験票の送付はありません。

受験票は Web 出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

【印刷可能通知】出願期間終了日から土・日・祝日を除く 3 日後までにメールで通知

(医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱを除く。(医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱについては
54 ページ 10. 合格者発表 の(1)第1段階選抜発表 を参照))

【印刷可能期間】通知の受信日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日まで

【印刷方法】Web 出願サイト>マイページ>受験票から印刷

- 上記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、教学支援部入試課へお問い合わせください。
- 受験票の印刷方法は白色の A4 用紙、倍率 100%、カラー印刷とします。
- 受験票には Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。
- 受験票の余白や裏面には何も書き込まないでください。

8. 選抜方法

(1) 選抜方法の概要

学部	課程・学科・コース・系		共通 テス ト	個別 学力 検査	実 技 検 査 等				2 段 階 選 抜	備 考	
					実 技	小 論 文	面 接	そ の 他			
学校推薦型選抜Ⅰ											
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	幼 児 教育コース	-	-	-	○	○	-	-	*7	
		障 害 児 教育コース	-	-	-	○	○	-	-		
		言 語 教育コース	国語教育系	-	-	-	○	○	-		-
			英語教育系	-	-	-	○	○	-		-
		生 活 社 会 教育コース	社会科教育系	-	-	-	○	○	-		-
			家政教育系	-	-	-	○	○	-		-
		科 学 教育コース	数学教育系	-	-	-	○	○	-		-
			理科教育系	-	-	-	○	○	-		-
		芸 術 身 体 教育コース	技術教育系	-	-	-	○*1	○*1	口頭試問 *1		-
			音楽教育系	-	-	○	-	○	-		-
			美術教育系	-	-	○	-	○	-		-
保健体育系	-	-	○*2	-	○	-	-				
やまなし小学校教育コース	-	-	-	○	○	-	-				
医学部	看 護 学 科		-	-	-	○	○	-	-		
工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学 コース	-	-	-	○	○*3	-			
		応 用 化 学 コース	-	-	-	○	○*3	-			
		土木環境工学 コース	-	-	-	○	○*3	-			
		コンピュータ理工学 コース	-	-	-	○	○*3	-			
		機 械 工 学 コース	-	-	-	○	○*3	-			
		メカトロニクス コース	-	-	-	○	○*3	-			
		電気電子工学 コース	-	-	-	○	○*3	-			
生命環境学部	生 命 工 学 科		-	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	-	-		
学校推薦型選抜Ⅱ											
医学部	医 学 科		○	-	-	-	○	-	○*6 (約1.2倍)	*7	
総合型選抜Ⅰ											
工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学 コース	-	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	○*4		*7	
		応 用 化 学 コース	-	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	○*4			
		土木環境工学 コース	-	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	○*5			
		コンピュータ理工学 コース	-	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	○*5			
		機 械 工 学 コース	-	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	○*5			
		メカトロニクス コース	-	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	○*5			
		電気電子工学 コース	-	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	○*5			

学部	学科・コース		共通 テス ト	個別 学力 検査	実 技 検 査 等				2 段 階 選 抜	備 考
					実 技	小 論 文	面 接	そ の 他		
総合型選抜Ⅱ										
工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学 コース	○	-	-	-	-	-	-	*7
		応 用 化 学 コース	○	-	-	-	-	-	-	
		土木環境工学 コース	○	-	-	-	-	-	-	
		コンピュータ理工学 コース	○	-	-	-	-	-	-	
		機 械 工 学 コース	○	-	-	-	-	-	-	
		メカトロニクス コース	○	-	-	-	-	-	-	
		電気電子工学 コース	○	-	-	-	-	-	-	
生命環境学部	地 域 食 物 科 学 科		○	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	-	○	
	環 境 科 学 科		○	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	-	○	
	地域社会システム学科		○	-	-	-	○ (口頭試問を含む)	-	○	
	観光政策科学特別コース		○				○ (口頭試問を含む)		○	

- *1 技術教育系は、Ⅰ(A)教科別推薦入試では面接と小論文、Ⅰ(B)専門・総合学科推薦入試では口頭試問を課します。
- *2 保健体育系は、活動実績報告書ならびに活動実績報告書証明書類で実技検査を行います。
- *3 女子枠の志願者には、提出された「志望理由書」に基づく面接も行います。
- *4 その他では、簡単な化学実験・実習の操作を課し、それに関する基礎的な知識や観察力・表現力を問う面接を行います。
- *5 その他では、提示する物理に関する資料に基づき、受験者の観察力・考察力・表現力を問う面接を行います。
- *6 医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱでは、志願者が募集人員の約1.2倍を超えた場合に第1段階選抜を実施します。
- *7 欠員が生じた場合、一般選抜で補充します。

(2) 学校推薦型選抜 I 【教育学部・医学部・工学部・生命環境学部】

① 選抜方法・合否判定基準

教育学部（A 教科別推薦入試）

幼 児 教育コース	小論文、面接、実技検査等の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」、「活動実績報告書」ならびに「活動実績報告書証明書類」（実技検査で体育実技を選択する志願者のみ）の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。
障 害 児 教育コース	
言 語 教育コース 【国語教育系・英語教育系】	
生活社会 教育コース 【社会科教育系・家政教育系】	
科 学 教育コース 【数学教育系・理科教育系・技術教育系】	
芸 術 身 体 教育コース 【音楽教育系・美術教育系・保健体育系】	

教育学部（B 専門・総合学科推薦入試）

生活社会 教育コース 【 家 政 教 育 系 】	小論文、面接の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。
科 学 教育コース 【 技 術 教 育 系 】	口頭試問の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、口頭試問の得点が高い者を上位とします。

教育学部（C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試）

やまなし小学校教育コース	小論文、面接の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。
--------------	---

医学部（看護学科）

看 護 学 科	小論文、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。評価の基準及び同点者の取扱いについては、入試の適正な実施に支障が生じかねないという観点から非公表とします。
---------	---

工学部（一般枠・女子枠）

クリーンエネルギー化学コース	小論文、面接の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。小論文や面接では、数学・理科・外国語の素養に関する試問を含むことがあります。ただし、評価点の総計が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。また、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、小論文、面接の順に得点が高い者を上位とします。この選抜の判定は一般枠、女子枠とも同じです。 女子枠については、これらに加えて、提出された「志望理由書」に基づく面接も上記の面接と同じ時間内に行います。女子枠と一般枠を併願することも可能で、女子枠で不合格と判定された者が併願している場合には一般枠での選抜の判定も行います。
応用化学コース	
土木環境工学コース	
コンピュータ理工学コース	
機械工学コース	
メカトロニクスコース	
電気電子工学コース	

生命環境学部（生命工学科）

生命工学科	口頭試問を含む面接の結果や、「調査書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。
-------	---

② 選抜期日・場所

期日：2025 年 11 月 22 日（土）

場所：教育 工学 生命 山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

場所：医学 山梨大学医学部キャンパス（山梨県中央市下河東 1110）

教育学部（A 教科別推薦入試）

コース	集合時刻	集合場所	検 査
幼児教育コース	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
障害児教育コース	9:30	甲府西キャンパス L号館C棟 2階 LC-27	小論文・面接
言語教育コース 【国語教育系・英語教育系】	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
生活社会教育コース 【社会科教育系・家政教育系】	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
科学教育コース 【数学教育系・理科教育系・技術教育系】	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
芸術身体教育コース 【音楽教育系・美術教育系・保健体育系】	9:30	甲府西キャンパス L号館C棟 1階 LC-17	実技・面接

・試験終了時刻は受験者数により変わります。

教育学部（B 専門・総合学科推薦入試）

コース	集合時刻	集合場所	検 査
生活社会教育コース 【家政教育系】	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接
科学教育コース 【技術教育系】	12:00	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	口頭試問

・試験終了時刻は受験者数により変わります。

教育学部（C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試）

コース	集合時刻	集合場所	検 査
やまなし小学校教育コース	9:30	甲府西キャンパス M号館 1階 M-12	小論文・面接

・試験終了時刻は受験者数により変わります。

医学部（看護学科）

学 科	集合時刻	集合場所	検 査
看護学科	8:30	医学部キャンパス 看護学科教育研究棟	小論文・面接

・試験終了時刻は受験者数により変わります。

工学部

コース	集合時刻	集合場所	検 査
クリーンエネルギー化学コース	9:00	甲府東キャンパス T-1 号館 T1-32	小論文・面接
応 用 化 学コース	9:00	甲府西キャンパス 総合研究棟 1階ロビー	小論文・面接
土 木 環 境 工 学コース	9:00	甲府東キャンパス T-1 号館 T1-11	小論文・面接
コンピュータ理工学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館 A2-21	小論文・面接
機 械 工 学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館 A2-12	小論文・面接
メカトロニクスコース	9:00	甲府東キャンパス T-1 号館 T1-22	小論文・面接
電気電子工学コース	9:00	甲府東キャンパス T-1 号館 T1-12	小論文・面接

・試験終了時刻は受験者数により変わります。

生命環境学部（生命工学科）

学 科	集合時刻	集合場所	検 査
生命工学科	9:00	甲府西キャンパス S1 号館	面 接 (口頭試問を含む)

・試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 個別学力検査等内容

教育学部 (A 教科別推薦入試)		
コ ー ス	検 査	検査内容、出題範囲、評価基準等
幼 児 教育コース	小 論 文	教育や子どもの発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面 接	コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。 面接の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。
障 害 児 教育コース	小 論 文	子どもの発達や学校教育などに関する事項について出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面 接	自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。 面接の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。
言 語 教育コース 【国語教育系・英語教育系】	小 論 文	言語や教育に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面 接	コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。なお、国語教育系の志望者に英語教育について質問したり、英語教育系の志望者に国語教育について質問したりすることはありません。 面接の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。
生活社会 教育コース 【社会科教育系・家政教育系】	小 論 文	社会科教育系では私たちの社会と教育に関わる論題を、家政教育系では家庭生活と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面 接	コース・系の教育活動に対する理解や、教職への意欲・適性等を総合的に評価します。 面接の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。
科 学 教育コース 【数学教育系・理科教育系・技術教育系】	小 論 文	科学(数学または理科または技術)や教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面 接	コース・系の教育活動に対する理解、入学後の教育研究に対する意欲や教科(数学または理科または技術)に関する資質・能力等を総合的に評価します。 面接の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。
芸 術 身体 教育コース 【音楽教育系・美術教育系・保健体育系】	実 技	志望する系に応じて音楽実技、美術実技、体育実技のいずれかを課し、志望する系での学習の前提となる知識・技能等を総合的に評価します。 (詳細は別表「実技検査の内容・注意事項」(44 ページ)を参照。加えて、保健体育系を選択した方については、本要項に記載の「活動実績報告書・活動実績報告書証明書類作成要領」を確認すること。)
	面 接	志望する系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。 面接の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。

教育学部（B 専門・総合学科推薦入試）

コース	検 査	検査内容、出題範囲、評価基準等
生活社会教育コース 【家政教育系】	小論文	家庭生活と教育に関わる論題を出題し、系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	系の教育活動に対する理解や、高等学校での家庭科に関する学習、教職への意欲・適性等を総合的に評価します。 面接の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。
科学教育コース 【技術教育系】	口頭試問	コース・系での学習の前提となる知識・技能・思考力・判断力・表現力を有しているかを判定するための学力評価（英語・数学・理科・課題研究に関する内容を含む）を行うとともに、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。 口頭試問の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。

教育学部（C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試）

コース	検 査	検査内容、出題範囲、評価基準等
やまなし小学校教育コース	小論文	小学校教育や児童の発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	山梨県の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲・適性等を総合的に評価します。 面接の中で、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容についての説明を求めることがあります。

医学部（看護学科）

学 科	検 査	検査内容、出題範囲、評価基準等
看護学科	小論文	バランスのとれた判断力・論理的構想力・表現力等を総合的に評価します。
	面接	人間性豊かな看護職及び創造性に富んだ看護学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性等を総合的に評価します。

工学部

コース	検 査	検査内容、出題範囲、評価基準等
クリーンエネルギー化学コース	小論文	化学に関する素養を問う設問を通して「化学の基礎知識」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。
	面接*	化学への関心の高さ、目的意識、学習意欲、理解力、コミュニケーション能力に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
応用化学コース	小論文	化学に関する素養を問う設問を通して「化学の基礎知識」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。
	面接*	化学への関心の高さ、目的意識、学習意欲、理解力、コミュニケーション能力に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
土木環境工学コース	小論文	科学・技術に関する講義を行い、その内容に関する問いを出題し、評価します。
	面接*	「多面的・総合的な評価のための申告書」、「調査書」を参考に、志望動機、学習意欲、適性を総合的に評価します。
コンピュータ理工学コース	小論文	数学・物理・英語に関する内容を出題し、基礎学力を評価します。
	面接*	回答の明確さ、論理の正しさ、意欲、独自性を総合的に評価します。
機械工学コース	小論文	科学・技術に関して出題し、技術者としての思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。なお、英語の素養を見る課題を含むことがあります。
	面接*	機械工学への関心の高さ、学習意欲、知的好奇心、理解力、コミュニケーション能力に基づいて評価します。
メカトロニクスコース	小論文	科学・技術に関する内容を出題し、論理的思考を評価します。
	面接*	「多面的・総合的な評価のための申告書」、「調査書」を参考に、論理的思考、回答の明確さ・正確さ（コミュニケーション能力）、意欲・適性を総合的に評価します。
電気電子工学コース	小論文	電気電子工学に関して出題し、論理的思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接*	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」等を参考に、論理的な説明力、人物像、適性を総合的に評価します。

* 女子枠の志願者には提出された「志望理由書」に基づく面接も行い、男女ともに輝ける社会を創造するために工学系出身者が貢献すべきことや、ダイバーシティの視点で大学で学ぶべきこと、身に付けたいことなどに関する考えについて評価します。

生命環境学部（生命工学科）

学 科	検 査	検査内容、出題範囲、評価基準等
生 命 工 学 科	面接 (口頭試問を含む)	「調査書」、「学校長推薦書」を参考に、面接により志望動機、学習意欲、適性等を評価します。また、口頭試問により数学・化学・生物に関する基礎学力を評価します。

教育学部（A 教科別推薦入試）実技検査の内容・注意事項

（実技検査の内容に関するお問い合わせには応じられません。）

検 査	検査内容・注意事項
音楽教育系 （音楽実技）	下記の①、②を受験すること。 ① 共通課題（音楽基礎能力試験）… 下記のA～Dを受験すること。 A 旋律聴音 1 題（12～16 小節） B 新曲視唱 1 題（練習時間 5 分程度） ・移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 C コンコーネ 50 番 ・No.28～No.48 より当日 1 曲を指定する。楽譜を見てもよい。 ・移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。高、中、低声用いずれでもよい。 D ピアノ ・任意の楽曲を 1 曲演奏すること。（暗譜すること。繰り返しは省略すること。） ・楽譜の提出は不要。 ・②の選択課題をピアノで受験する方は、D は不要。 ② 選択課題（演奏実技） ・任意の器楽曲、又は声楽曲を演奏すること。 ・全て暗譜すること。繰り返しは省略すること。 ・演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでもよい。 1 ピアノで受験の場合 (1) 1 曲又は数曲を演奏すること（10 分程度）。 (2) 出願時に演奏曲の楽譜（左上に氏名、曲名及び「ピアノ」と明記）を同封すること。 2 声楽で受験の場合 (1) 日本歌曲を含む 2 曲を演奏すること。外国語は原語で演奏すること。 (2) 出願時に演奏曲の楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏部を伴った楽譜（左上に氏名、曲名及び「声楽」と明記））を同封すること。 3 ピアノ以外の楽器で受験の場合 (1) 1 曲又は数曲を演奏すること（5 分～10 分程度）。 (2) 楽器は各自持参すること。 (3) 出願時に演奏曲の楽譜（左上に氏名、曲名及び楽器名を明記）を同封すること。 (4) 伴奏はなしとする。
美術教育系 （美術実技）	造形表現に関する検査：造形表現に関わる 200 分の実技課題を出題し、発想や構想、技能等を総合的に評価する。 与えられたテーマ（例：希望、憧れ等）を自分なりに解釈し、与えられたモチーフ（例：紙コップ、色紙等）を用いて B3 画用ボードに自由に表現する。その際、表現の意図を別紙に文章で記載する。なお、この文章は、文章力を検査するものではなく、与えられたテーマの解釈やそれに基づく画面構成、表現の工夫等の意図をみるためのものである。 ・透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。なお、B3 画用ボードは本学で用意する。
保健体育系 （体育実技）	高等学校等在籍時の各種大会参加等の活動実績について、「活動実績報告書」と「活動実績報告書証明書類」を用いて実技検査とする。この作成にあたっては、本要項の作成要領を確認すること。

④ 配 点

教育学部、医学部及び生命環境学部の配点については非公表とします。

工学部の配点については以下のとおりです。

コース	調査書	多面的・総合的な 評価のための申告書	志望理由書*	小論文	面接	合計
クリーンエネルギー化学 コース 応 用 化 学 コース 土 木 環 境 工 学 コース コンピュータ理工学 コース 機 械 工 学 コース メカトロニクス コース 電 気 電 子 工 学 コース	50	適否	適否*	200	100	350

* 女子枠志願者のみ

(3) 学校推薦型選抜Ⅱ【医学部】

① 選抜方法・合否判定基準

2段階選抜により合格者を決定します。

(1) 第1段階選抜

志願者が募集人員の約1.2倍を超えた場合に実施し、大学入学共通テストの成績、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。

(2) 最終選抜

第1段階選抜の合格者について、大学入学共通テストの成績、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」を総合して判定します。評価の基準及び同点者の取扱いについては、入試の適正な実施に支障が生じかねないという観点から非公表とします。

② 選抜期日・場所（最終選抜）

期日：2026年2月9日（月）

場所：山梨大学医学部キャンパス（山梨県中央市下河東1110）

学 科	集合時刻	集合場所	検 査
医 学 科	別途連絡*	医学部キャンパス 看護学科教育研究棟	面 接

* 集合時刻は最終選抜前に別途連絡します。また、試験終了時刻は最終選抜当日の受験者数により変わります。

③ 検査内容（最終選抜）

学 科	検 査	検査内容、評価基準等
医 学 科	面 接	人間性豊かな医師及び創造性に富んだ医学研究者となるにふさわしい情操・創造性・適応性等を総合的に判定します。また、将来山梨県内で診療に従事する理由・意欲等もみます。

④ 配 点

学 科	選抜 段階	大学入学共通テスト						
		国	地歴	公民	数	理	外	情 計
医 学 科	1 次	200	100		200	200	200	100 1,000
	最終	200	100		200	200	200	100 1,000

・ 面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の配点については非公表とします。

(4) 総合型選抜 I 【工学部】

① 選抜方法・合否判定基準

クリーンエネルギー化学 コース 応 用 化 学 コース	「調査書」、面接、「多面的・総合的な評価のための申告書」、化学に関する口頭試問、ならびに選抜当日に課す化学実験に関する課題による結果を総合して判定します。合格ライン上に総合評価点が同点の者がいる場合は、同点者すべてを合格者とします。ただし「多面的・総合的な評価のための申告書」、面接または課題の評価が合格判定基準を満たしていない者は不合格とします。
土 木 環 境 工 学 コース コンピュータ理工学 コース 機 械 工 学 コース メ カ ト ロ ニ ク ス コース 電 気 電 子 工 学 コース	「調査書」、面接、「多面的・総合的な評価のための申告書」、物理に関する口頭試問、ならびに選抜当日に提示する物理に関する課題による結果を総合して判定します。合格ライン上に総合評価点が同点の者がいる場合は、同点者すべてを合格者とします。ただし、「多面的・総合的な評価のための申告書」、面接または課題の評価が合格判定基準を満たしていない者は不合格とします。

② 選抜期日・場所

期日：2025 年 10 月 18 日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

コ ー ス	集合時刻	集合場所	検 査
クリーンエネルギー化学コース	9:00	甲府西キャンパス 総合研究棟 1 階ロビー	面接（口頭試問を含む）・課題
応 用 化 学コース	9:00	甲府西キャンパス 総合研究棟 1 階ロビー	面接（口頭試問を含む）・課題
土 木 環 境 工 学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館 1 階ロビー	面接（口頭試問を含む）・課題
コンピュータ理工学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館 1 階ロビー	面接（口頭試問を含む）・課題
機 械 工 学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館 1 階ロビー	面接（口頭試問を含む）・課題
メ カ ト ロ ニ ク スコース	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館 1 階ロビー	面接（口頭試問を含む）・課題
電 気 電 子 工 学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2 号館 1 階ロビー	面接（口頭試問を含む）・課題

・ 試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

コース	検査	検査内容、評価基準等
クリーンエネルギー化学 コース 応 用 化 学 コース	面 接 (口頭試問を 含む)	面接では目的意識、学習意欲、論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に判定します。口頭試問では化学に関する基礎知識を評価します。
	課 題	化学実験に関する基礎的な技術や技能、実験結果に対する観察力、データ処理能力などに加え、論理的思考力、考察力、表現力を評価します。
土 木 環 境 工 学 コース コンピュータ理工学 コース 機 械 工 学 コース メ カ ト ロ ニ ク ス コース 電 気 電 子 工 学 コース	面 接 (口頭試問を 含む)	面接では目的意識、学習意欲、論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に判定します。口頭試問では物理に関する基礎知識・興味を総合的に評価します。
	課 題	物理に関する基礎的な技術や技能、実験結果に対する観察力、データ処理能力など物理に関する知識・技能・応用力を総合的に評価します。

④ 配 点

コース	調査書	多面的・総合的な評価 のための申告書	面接 (口頭試問を含む)	課題	合計
クリーンエネルギー化学 コース 応 用 化 学 コース	20	適否	50	30	100
	【課題】化学実験に関する課題を評価します。				
土 木 環 境 工 学 コース コンピュータ理工学 コース 機 械 工 学 コース メ カ ト ロ ニ ク ス コース 電 気 電 子 工 学 コース	20	適否	50	30	100
	【課題】物理に関する課題を評価します。				

(5) 総合型選抜Ⅱ【工学部・生命環境学部】

① 選抜方法・合否判定基準

工学部【総合型選抜Ⅱ】

工学科 クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、大学入学共通テストの化学の得点が大学入試センターが公表する平均点未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学科 土木環境工学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、大学入学共通テストの受験した理科2科目の両方の得点がいずれも、大学入試センターが公表するその科目の平均点未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学科 コンピュータ理工学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、判定に用いる大学入学共通テストの得点の本学科の検査の配点による合計が、大学入試センターが公表するそれぞれの科目の平均点を同様に合計した点の1.1倍未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。ただし、数学重視型と英数理バランス型（一般）で同点者がいる場合は、数学重視型の者を上位者とします。
工学科 機械工学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、判定に用いる大学入学共通テストの得点の本学科の検査の配点による合計が、大学入試センターが公表するそれぞれの科目の平均点を同様に合計した点の1.1倍未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
工学科 メカトロニクスコース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、判定に用いる大学入学共通テストの得点の本学科の検査の配点による合計が、大学入試センターが公表するそれぞれの科目の平均点を同様に合計した点の1.1倍未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。ただし、理科重視型（物理）と数学重視型で同点者がいる場合は、理科重視型（物理）の者を上位者とします。
工学科 電気電子工学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、理科重視型（物理）では大学入学共通テストの物理の得点が大学入試センターが公表する平均点未満の場合、数学重視型では大学入学共通テストの数ⅠAと数ⅡBCの両方の得点がいずれも大学入試センターが公表する平均点未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。ただし、理科重視型（物理）と数学重視型で同点者がいる場合は、理科重視型（物理）の者を上位者とします。

生命環境学部【総合型選抜Ⅱ】

地域食物科学科 地域社会システム学科 (観光政策科学特別コースを含む)	第1段階選抜	面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」を総合して判定します。ただし、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの得点、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」を総合して判定します。ただし、総得点が著しく低い場合は不合格になることがあります。
環境科学科	第1段階選抜	面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」を総合して判定します。ただし、面接、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。
	最終選抜	第1段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの得点と面接の得点の合計点で判定します。ただし、大学入学共通テストの得点が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。

② 選抜期日・場所（第1段階選抜）

期日：2025年11月22日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田4-4-37）

（工学部は、第1段階選抜を行いません。）

学 科	集合時刻	集合場所	検 査
生命 （第1段階選抜） 地 域 食 物 科 学 科 環 境 科 学 科 地域社会システム学科 （観光政策科学特別コースを含む）	9:00	甲府西キャンパス S1号館	面 接 （口頭試問を含む）

・試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

学 科	検 査	検査内容、評価基準等
工学 工学科 クリーンエネルギー化学コース 応 用 化 学コース 土木環境工学コース コンピュータ理工学コース 機 械 工 学コース メカトロニクスコース 電気電子工学コース	書 類	「多面的・総合的な評価のための申告書」により、高等学校等内外での活動への取り組みや取得した資格などから、向上心や主体性、協働性などを評価するとともに、本学科と各コース等のアドミッションポリシーの理解と本学で学ぶ意欲があり、将来への展望が明確であるかを評価します。
生命 地 域 食 物 科 学 科	面 接 （口頭試問を含む）	農業や食品産業への興味の強さ、目的意識、論理性、適性等を総合的に評価します。
生命 環 境 科 学 科	面 接 （口頭試問を含む）	自然や社会への興味、思考力・判断力・表現力、および課題の認識力と設定力を評価します。
生命 地域社会システム学科 （観光政策科学特別コースを含む）	面 接 （口頭試問を含む）	社会科学をはじめとする本学科での学びの基礎となる学力の3要素の定着度合い、アドミッションポリシーを踏まえた志望動機、目的意識の明確性、応答的確性を総合的に評価します。

④ 配 点

()は選択科目の配点を示します。

学科・コース	型	大学入学共通テスト								個別学力検査等					合計
		国	地歴	公民	数	理	外	情	計	小	面	総問	他	計	
工学 工学科 クリーンエネルギー化学 コース	㊦	-	-		(150)	300 (150)	(150)	-	600	-	-	-	適否	-	600
	・ ㊦化（300）は必須。 ・ ㊦数ⅠA、数ⅡBC、物、生、英の5科目を各150点満点に換算し、合計得点の最も高くなる2科目に化（300）を加えた計（600）を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。														
工学 工学科 応用化学 コース	㊦	-	-		(150)	300 (150)	(150)	-	600	-	-	-	適否	-	600
	● ㊦化（300）は必須。 ● ㊦数ⅠA、数ⅡBC、物、生、英の5科目を各150点満点に換算し、合計得点の最も高くなる2科目に化（300）を加えた計（600）を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。														
工学 工学科 土木環境工学 コース	㊩	-	-	-		600	-	-	600	-	-	-	適否	-	600
	● ㊩物、化、生の3科目のうち選択した2科目を各300点満点に換算し、計（600）を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。														
工学 工学科 コンピュータ理工学 コース	㊥	-	-		600	-	-	-	600	-	-	-	適否	-	600
	㊦	-	-		200	200	200	-	600	-	-	-	適否	-	600
	● ㊥数ⅠA、数ⅡBCの2科目を各300点に換算した計（600）を使用します。 ● ㊦数ⅠA（100）、数ⅡBC（100）、英語（200）は必須。 ● ㊦物、化、生の3科目のうち選択した2科目を各100点満点に換算し、数ⅠA（100）、数ⅡBC（100）、英（200）を加えた計（600）を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。														
工学 工学科 機械工学 コース	㊧	-	-		200	200	200	-	600	-	-	-	適否	-	600
	● ㊧数ⅠA（100）、数ⅡBC（100）、物（100）、英語（200）は必須。 ● ㊧化、生のうち選択した1科目を100点満点に換算し、数ⅠA（100）、数ⅡBC（100）、物（100）、英（200）を加えた計（600）を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。														
工学 工学科 メカトロニクス コース	㊨	-	-	-		600	-	-	600	-	-	-	適否	-	600
	㊥	-	-		600	-	-	-	600	-	-	-	適否	-	600
	● ㊨物（300）は必須。 ● ㊨化、生のうち選択した1科目を300点満点に換算し、物（300）を加えた計（600）を利用します。 ● ㊥数ⅠA、数ⅡBCの2科目を各300点に換算した計（600）を使用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。														
工学 工学科 電気電子工学 コース	㊨	-	-	-		600	-	-	600	-	-	-	適否	-	600
	㊥	-	-		600	-	-	-	600	-	-	-	適否	-	600
	● ㊨物（300）は必須。 ● ㊨化、生のうち選択した1科目を300点満点に換算し、物（300）を加えた計（600）を利用します。 ● ㊥数ⅠA、数ⅡBCの2科目を各300点に換算した計（600）を使用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。														

学 科	選抜 段階	大学入学共通テスト								個別学力検査等					合計
		国	地歴	公民	数	理	外	情	計	小	面	総問	他	計	
生命 地 域 食 物 科 学 科	1 次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	適否	-	適否	-	-
	最終	200	100	200	200	200	100	1,000	-	-	適否	-	適否	-	1,000
		● 第1段階選抜について、面接（適否）、「調査書」（適否）、「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。													
生命 環 境 科 学 科	1 次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,000	-	適否	1,000	1,000
	最終	200	100	200	200	200	100	1,000	-	-	1,000	-	-	1,000	2,000
		● 第1段階選抜では、面接（1,000）、「調査書」（適否）、「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。 ● 最終選抜では、大学入学共通テストの得点と第1段階選抜の面接の得点の合計点で評価します。													
生命 地域社会システム学科 （観光政策科学特別コースを含む）	1 次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	適否	-	適否	-	-
	最終	200	(100)	(100)	200	(100) (200)	200	50	850	-	-	適否	-	適否	850
		● 第1段階選抜について、面接（適否）、「調査書」（適否）、「多面的・総合的な評価のための申告書」（適否）を評価します。 ● （ ）は選択科目の配点を示します。													

9. 受験上の注意

- (1) 試験当日は、本学受験票を必ず持参してください。
- (2) 机の上には、本学で指定したものの他に、鉛筆又はシャープペンシル（芯は HB 又は B の黒色に限る）、鉛筆キャップ、消しゴム（砂消しを除く）、定規（三角定規を除く）、コンパス、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋や箱から中身だけ取り出したもの）のみ置いて使用することができます。なお、これらのものを大学で貸出はいたしません。
- (3) 試験前日の 14 時～16 時は試験場の下見を認めます。ただし、下見は建物入口までとし、建物内の下見は認めません。
- (4) 課せられた試験を 1 つでも受験しなかった場合、受験した全試験の成績を無効とします。
- (5) 不正行為*を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示し、受験した全試験の成績を無効とします。
- (6) 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- (7) 遅刻した場合は、試験開始後（教育学部においては、集合時刻から）30 分以内に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
なお、試験場に向かう途中の事故または公共交通機関の遅延等によるやむを得ない場合はこの限りではありません。やむを得ない事情で遅刻する場合は、集合時刻までに教学支援部入試課（TEL：055-220-8046）に電話してください。
- (8) 自動車による入構はできません。電車・バス等の公共交通機関を利用してください。
- (9) 試験当日に試験実施が困難になるような不測の事態（災害等）が発生した場合、ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/9604>）に対応措置等を掲載します。
- (10) 出願後から試験当日までに、連絡事項等をホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に掲載する場合がありますので、試験の前に必ず確認してください。

* 不正行為

- Web 登録情報、出願書類、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（Web 出願サイトに本人以外の顔写真を登録すること、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入すること等）を行うこと
- Web 出願サイトに顔面や身体部分を明らかに加工した顔写真の登録を行うこと
- カンニング（試験に関係するメモやコピー等を机上等に置いたり見たりすること、教科書・参考書及び辞書等の参考書類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）を行うこと
- 他の受験者に答えを教えたり、解答用紙の交換等により、カンニングの手助けを行うこと
- 試験時間中に、問題用紙、下書き用紙等を試験室から持ち出すこと
- 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- 「解答はじめ」の指示の前に、問題用紙を開いたり、解答を始めること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具を使用すること
- 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・電子辞書・IC レコーダー等の電子機器類を使用すること
- 「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴム等を持っていたり、解答を続けること
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具・電子機器類及び書籍類をかばん等にしまわず、衣服の中も含め身に付けていたり、手に持つなどの行為を行うこと
- 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出を行うこと
- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為を行うこと
- 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為を行うこと

10. 合格者発表

(1) 第1段階選抜発表

総Ⅱ (生命環境学部) 2025年12月5日(金)

推Ⅱ (医学部) 2026年2月6日(金)

- **総Ⅱ** 学校長及び志願者本人に選考結果通知書を郵送します。
選考結果通知書にはWeb出願サイトに登録された氏名を使用します。
発表日から3日経過しても通知が届かない場合は、教学支援部入試課へお問い合わせください。
- **推Ⅱ** 学校長及び志願者本人に選考結果通知書を郵送します。
選考結果通知書には大学共通テスト受験票に記載された氏名を使用します。
また、合格者にはWeb出願サイトから受験票の印刷が可能になった旨を、不合格者には不合格となった旨をメールで通知します。
ただし、志願倍率が募集人員の約1.2倍を超えなかった場合は、第1段階選抜を実施しない旨をホームページ(https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)に掲載し、志願者全員に受験票の印刷が可能になった旨をメールで通知します。
メールが届かない場合は、2026年2月8日(日)13時から16時までの間に教学支援部入試課へお問い合わせください。
大学入学共通テストの科目不足等により出願無資格者であることが判明した方にはその旨を通知します。
- ホームページ及び大学構内での掲示は行いません。また、電話等による可否のお問い合わせには応じません。

(2) 合格者発表

総Ⅰ (工学部) 2025年11月4日(火)16時頃

推Ⅰ (教育学部・医学部・工学部・生命環境学部) 2025年12月5日(金)16時頃

総Ⅱ (工学部・生命環境学部) 2026年2月10日(火)16時頃

推Ⅱ (医学部) 2026年2月11日(水)16時頃

- ホームページ(https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)に合格者の受験番号を掲示します。
- 合格者に合格通知書を、高等学校長等に選考結果通知書を郵送します。
合格通知書及び選考結果通知書には、原則Web出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 大学構内での掲示は行いません。また、電話等による可否のお問い合わせには応じません。
- 本学では可否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することはありません。可否電報に関するトラブル等が発生しても本学では責任を負いません。

- 教育学部・医学部（看護学科）・工学部（推 I、総 I）・生命環境学部生命工学科（推 I）は、合格者に対して入学前教育を実施します。

11. 入学手続

2026 年 2 月 12 日 (木) ～ 2026 年 2 月 18 日 (水)

- 期間内に入学手続を完了しなかった方は、入学の意志がなく入学を辞退したものとみなします。ただし、下記＊注意事項の③④に注意してください。
- 入学手続の詳細は Web 出願サイトに登録されたメール又は住所に通知します。
- 入学時の主な必要経費は次のとおりです。なお、金額は変更することがあります。
 - ・ 入学金 282,000 円【予定】
 - ・ 授業料 年額 535,800 円 (前期 267,900 円・後期 267,900 円)【予定】
 - ・ 後援会費・同窓会費・学友会費等
 - 教育学部 64,000 円 (後援会費・同窓会費・学友会費等、4 年分)【予定】
 - 医学部医学科 110,000 円 (後援会費・学生会費等、6 年分)【予定】
 - 医学部看護学科 66,600 円 (後援会費・学生会費等、4 年分)【予定】
 - 工学部 50,000 円 (後援会費・同窓会費・学友会費等、4 年分)【予定】
 - 生命環境学部 48,000 円 (後援会費・同窓会費・学友会費等、4 年分)【予定】
 - ・ 学生保険 保険料 (学生保険への全員加入を本学の方針としています)
- 医学部については、入学手続をした場合、入学当初から休学することは原則として認められません。
- 入学料・授業料の免除又は徴収猶予については、ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/345>) を参照してください。

＊注意事項

- ① 不合格となった場合に備えて、学校推薦型選抜・総合型選抜に出願した方でも、国公立大学の一般選抜 (前期日程・後期日程からそれぞれ 1 つ) に出願することができます。また、総合型選抜Ⅰに出願し、不合格となった方でも、総合型選抜Ⅱに出願することができます。本学の他の選抜に出願する場合、該当の募集要項を確認の上、出願してください。なお、入学検定料の免除はありません。
- ② 学校推薦型選抜・総合型選抜に合格した方は、本学の他の選抜及び他の国公立大学を受験しても入学許可は得られません。ただし、特別の事情により、高等学校長等から「入学辞退願」が提出され、本学学長が 2026 年 2 月 18 日 (水) 16 時【厳守】までに入学辞退を許可した場合を除きます。
- ③ 学校推薦型選抜・総合型選抜に合格し入学手続した方は、これを取り消して、他の国公立大学の入学手続をすることはできません。
- ④ 学校推薦型選抜・総合型選抜に合格し入学手続した方が、在籍する高等学校等を卒業できなかった場合は、入学許可を取り消します。
- ⑤ 学校推薦型選抜について、入学の確約に違約した場合及び出願書類に虚偽の記載が判明した場合は、次年度以降当該学校からの推薦を受理しないことがあります。
- ⑥ 入学手続には本学受験票の提出が必要となりますので、受験後も大切に保管してください。

12. 入試情報の開示

- 受験者本人の申請により、本人のみに入試成績を開示します。
- 詳細は、2026 年 4 月以降にホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) でお知らせします。

13. 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人山梨大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 選抜実施において取得した個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤志願動向の分析や今後の入学者選抜方法検討や、大学教育の改善に関する調査・分析、⑥合格者に対する入学前教育及び入学前イベントを行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者については、知り得た個人情報を、①教務関係（学籍・修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 国公立大学における一般選抜の合格者決定業務を円滑に行うため、可否及び入学手続に関する個人情報（氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テスト受験番号）が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (4) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（受託業者）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (5) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

14. その他の留意事項

* 出願状況の情報提供について

出願期間後、出願状況をホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) に掲載します。

*（医学部合格者）住居の選定について

本学は、甲府キャンパス（教育学部、工学部、生命環境学部）と医学部キャンパス（医学部）があり、両キャンパス間は約 10km 離れています。医学部 1 年次生は、主として甲府キャンパスにおいて全学共通教育科目等を受講しますが、週 2 日程度は医学部キャンパスにおいて専門科目を受講します。2 年次生からは医学部キャンパスにおいて専門科目を中心に受講します。住居の選定に当たっては、このことを十分考慮してください。

*（医学部合格者）休学について

本学医学部医学科・看護学科合格後、大学への入学手続きをした場合、入学当初から休学することは認められません。

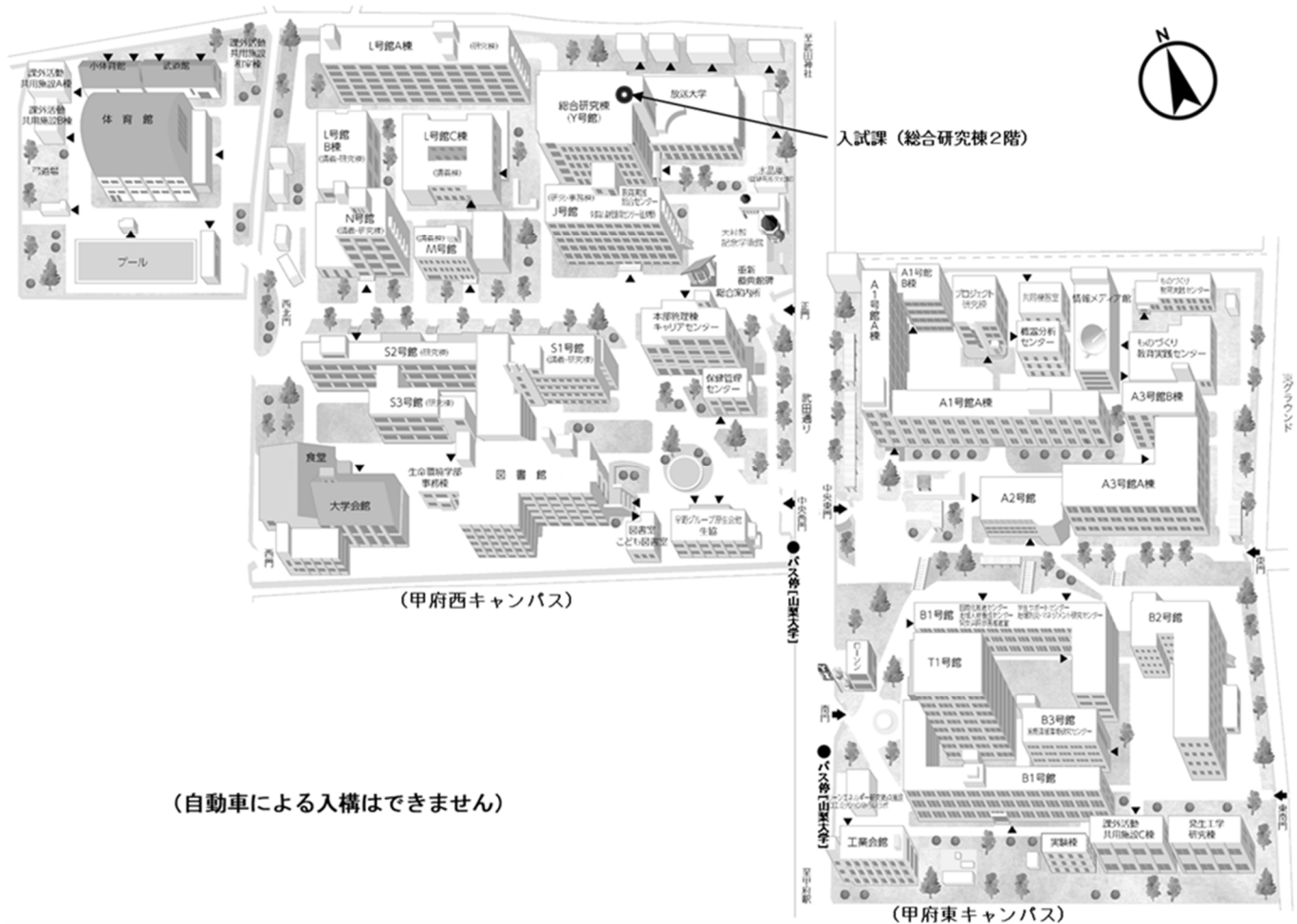
但し、特段の事情がある場合は、医学部教授会の審議により休学が認められることがあります。

15. 入学試験における感染症対応

入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患して治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

16. 甲府キャンパス案内図

所在地 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

甲府キャンパス建物配置図 (<https://www.yamanashi.ac.jp/campusmap>)

甲府キャンパス周辺図

JR 甲府駅下車、北口から徒歩約 15 分

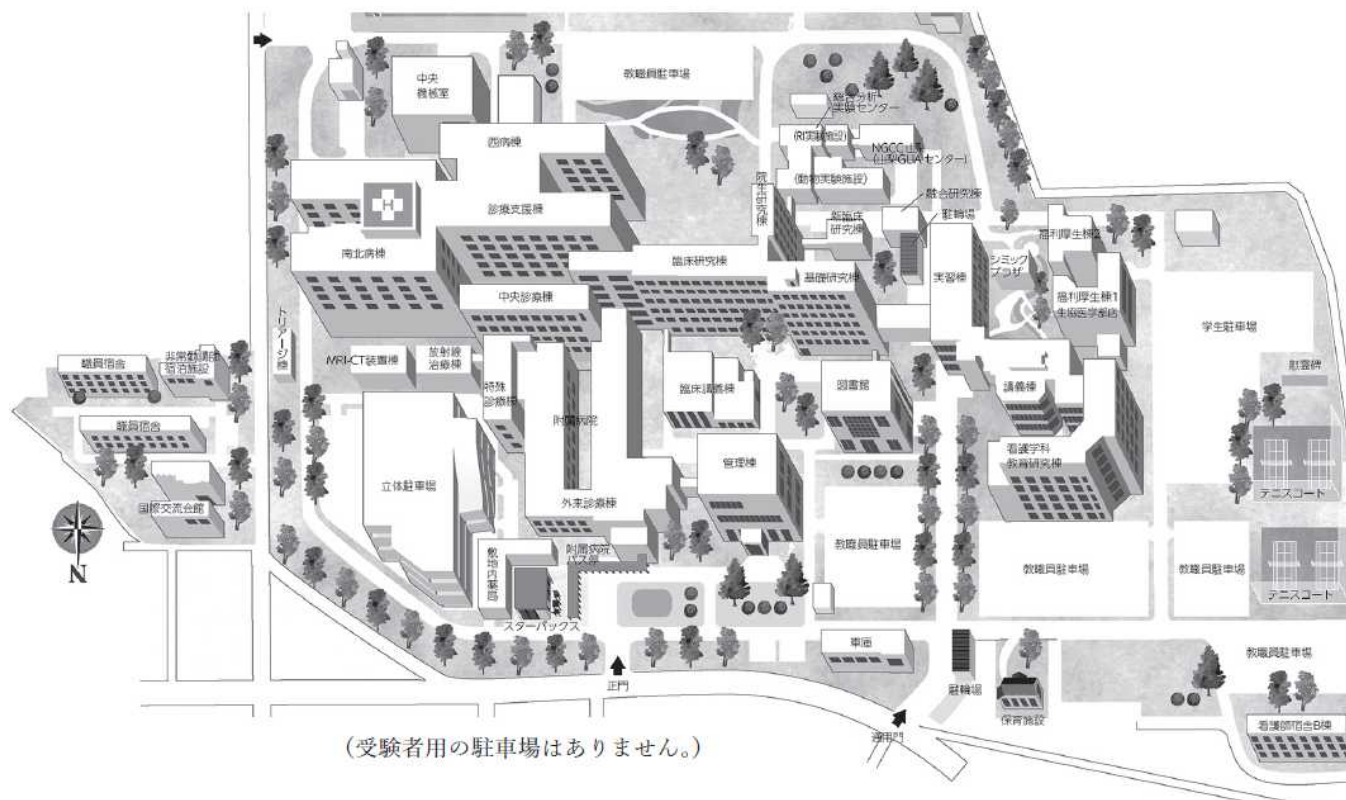
JR 甲府駅下車、北口からバスで約 5 分 (「武田神社」又は「積翠寺」行き) バス停「山梨大学」下車



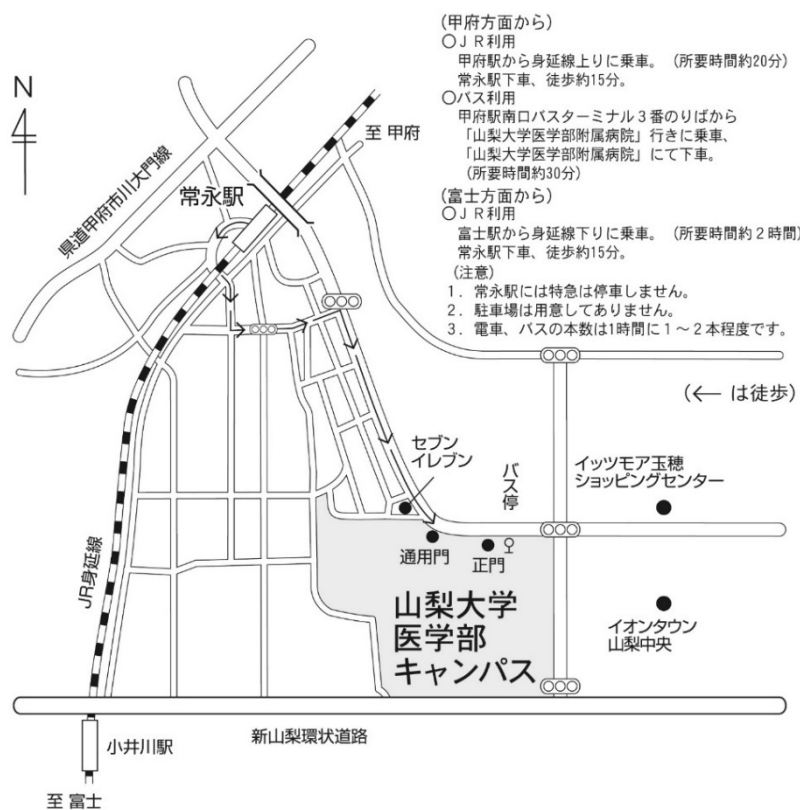
17. 医学部キャンパス案内図

所在地 〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

医学部キャンパス建物配置図 (<https://www.yamanashi.ac.jp/campusmap>)



医学部キャンパス周辺図



多面的・総合的な評価のための申告書（教育学部以外）

氏 名

出身学校名

志望先

医

志望先の学部
に○をつけて
ください。

工

生命環境

学部

学科

コース

- ① 高等学校等に入学してから現在までの学校内外の諸活動（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、資格取得など、主な活動実績）と、そこから学んだことを記入してください。

- ② 上記志望先の志望理由、入学後に学びたい内容とその計画、大学卒業後の目標を記入してください。

多面的・総合的な評価のための申告書（教育学部）

氏 名

出身学校名

志望先

教育学部

学校教育課程

コース

系

(教育学部 学校推薦型選抜Ⅰのみ)

- ① 教育学部では、教員を目指す強い意志を持った人を求めています。このことをふまえ、あなたが教員を志望する理由、入学後に学びたい内容とその計画、大学卒業後にどのような教員になりたいかを記入してください。

- ② 高等学校等に入学してから現在までの学校内外の諸活動（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、資格取得など、主な活動実績）と、そこから学んだことを記入してください。また、それらの活動が教員になるうえでどのように役立つと考えられるかについて記入してください。

活動実績報告書・活動実績報告書証明書類作成要領

活動実績報告書は、教育学部学校教育課程芸術身体教育コース保健体育系の実技検査として使用するものです。本作成要領に基づき、学校長が作成してください。

1. 「主な種目名・活動実績名等」欄は、主となる種目名・活動実績名を一つだけ記入してください。
2. 「参加大会名等」欄は、高等学校在籍時に出場した全国・ブロック・県及び地区の各大会等の中で、主要な実績の正式名称を記入してください（4つ以内）。
3. 「開催地・開催年月」欄は、活動を行った場所・開催年月を記入してください。
4. 「成績・記録・参加状況等」欄は、順位等の成績をできるだけ具体的に記入してください。
(優勝、ベスト8、2回戦敗退(ベスト32)、奨励賞受賞など)
5. 「学年」欄は、該当する学年を記入してください。
6. 「本人が果たした役割」欄は、ポジション、役割、貢献度(大会等の出場実態：スターティングメンバー、途中交代、リザーブで出場なし等)をできるだけ具体的に記入してください。
7. 「その他」欄は、特筆すべき活動実績がある場合に記入してください。
8. 記入した活動実績すべてについて、「活動実績報告書証明書類(表紙)」の作成上の注意に従って、上記2～6の内容が証明される書類(本人が大会等で実際に活動(競技・演技)したことがわかる個人名が明記された書類又はそのコピー)を必ず添付してください。
 - ※ 活動実績報告書証明書類の該当箇所には蛍光ペン等でマークを付してください。
 - ※ 成績と個人名のある賞状・公式記録・主催団体の証明書のほか、大会名・成績・個人の出場記録のすべてが記載されている新聞や専門雑誌などでも構いません。
 - ※ 連盟・主催団体等の証明や審判等の署名がある公式スコアシート等、本人の試合出場及び成績が明記された書類またはそのコピーを提出してください。
 - ※ エントリーシートや大会プログラムにおいて本人の氏名が明記されていても、試合当日の本人の出場や成績が明記されていないものは不可とします。
 - ※ 証明書類が添付できない場合は、原則として活動実績の検査ができませんので注意してください。
 - ※ 提出した証明書類は返却できません。
9. 活動実績がない場合は、「その他」欄に「活動実績なし」と記入の上、本報告書を提出してください。
この場合、原則として活動実績の検査ができませんので注意してください。
10. 手書き、パソコン入力を問いません。文字色は黒とします。本要項32～33ページ「*出願書類の作成方法」もあわせてご確認ください。
11. 受験番号欄は大学側で記入します。

受 験 番 号
※大学側で記入します。

活 動 実 績 報 告 書

フリガナ			生年月日		
氏 名			年 月 日		
身 長	cm		体 重	kg	
主な種目名・活動実績名等					
資料 番号	参加大会名等	開催地・ 開催年月	成績・記録・ 参加状況等	学年	本人が果たした役割
1		(年 月)		年	
2		(年 月)		年	
3		(年 月)		年	
4		(年 月)		年	
その他					

本書の記載事項に誤りがなく、「活動実績報告書証明書類」に不備がないことを証明する。

学 校 名 _____

学校所在地 _____

学校長名 _____

職印

記入年月日 年 月 日

活動実績報告書証明書類(表紙)

活動実績報告書 資 料 番 号					
氏名		受験 番号※		証明書類の有無	有 ・ 無
参加大会名等					
証 明 書 類 が 添付できない理由					
年 月 日		記載者役職名 _____			
証明書類に不備がないことを証明する。		記 載 者 氏 名 _____ ㊞			

【作成上の注意】

- (1) 活動実績報告書証明書類は A4 用紙に統一してください。活動実績報告書に記入した資料番号に合わせ、この用紙を表紙として左上をホチキスで綴じてください。
 - (2) 記載者は出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者とします。
 - (3) 証明書類は志願者本人の責任で決めてください。
 - (4) 証明書類が無い場合は、出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者が、「証明書類が添付できない理由」を具体的に記入してください。
- ※ 受験番号欄は大学側で記入します。

----- < 切 り 取 り 線 > -----

活動実績報告書証明書類(表紙)

活動実績報告書 資 料 番 号					
氏名		受験 番号※		証明書類の有無	有 ・ 無
参加大会名等					
証 明 書 類 が 添付できない理由					
年 月 日		記載者役職名 _____			
証明書類に不備がないことを証明する。		記 載 者 氏 名 _____ ㊞			

【作成上の注意】

- (1) 活動実績報告書証明書類は A4 用紙に統一してください。活動実績報告書に記入した資料番号に合わせ、この用紙を表紙として左上をホチキスで綴じてください。
 - (2) 記載者は出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者とします。
 - (3) 証明書類は志願者本人の責任で決めてください。
 - (4) 証明書類が無い場合は、出身高等学校の保健体育主任又は担当顧問教員等の指導責任者が、「証明書類が添付できない理由」を具体的に記入してください。
- ※ 受験番号欄は大学側で記入します。

学校長推薦書作成上の注意事項

1. 試験区分・志望先

- 出願する試験区分の記号を○で囲んでください。
- 「コース」欄には、志望するコースの名称を記入してください。
- 「系」欄には、志望する系の名称を記入してください。「幼児教育」「障害児教育」及び「やまなし小学校教育」以外のコースを志望する場合は、系の記入が必要です。

2. 学習成績の状況

- 「全体」欄には、調査書の「学習成績の状況」欄に記載された全体の数値（高等学校生徒指導要録に基づき、全ての教科・科目の評定の合計数を全ての評定数で除した数値（小数点以下第2位を四捨五入）を記入してください。
- 「各系が指定する教科」欄には、出願資格で個別の教科に関して学習成績の状況が指定されている系は、その教科及び数値を記入してください。

(例) 理科教育系の場合

全 体	各系が指定する教科
3.8	数学 4.3 理科 4.1

3. 数学Ⅲの履修状況（科学教育コース数学教育系の志願者のみ記入）

- 数学Ⅲを履修した学年を記入してください。
- 専門教育を主とする学科等に在籍している方は、「数学」の代替科目又は対応科目欄に、「理数数学Ⅰ」、「理数数学Ⅱ」などの代替科目又は対応科目を記入してください。

4. 志願者の資質・能力

- 各項目について「A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する」から該当する記号を○で囲んでください。

5. 推薦理由

- 志願者が教員を目指す強い意志と資質・能力を兼ね備えていることを、「志願者の資質・能力の評価」とも絡めながら記入してください。

6. その他

- 本学所定の様式により作成し、必ず厳封したものを提出してください。
- 例年、志願者の生年月日や卒業（卒業見込）年月を西暦で記入する場合に間違いが多く見られますので、ご注意ください。

学 校 長 推 薦 書 (教育学部)

作成日 年 月 日

山梨大学長 殿

学 校 名

学校長氏名

職印

下記の者を、教員を目指す強い意志と資質・能力を兼ね備えており、貴大学教育学部 学校教育課程の学校推薦型選抜志願者としてふさわしい者と認め、出願資格を満たすことを確認し、責任をもって推薦します。なお、下記の者は、本年度において、国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、貴大学教育学部 学校教育課程のみです。

記

氏 名		年 月 日 生
		年 月 ☐ 卒業 ☐ 卒業見込

試験区分 ・ 志 望 先	A 教科別推薦入試 B 専門・総合学科推薦入試 C 山梨県の小学校教員志望者推薦入試 該当する記号を○で囲んでください。	コース
		系

学習成績の状況
(調査書の「学習成績の状況」欄に記載
された数値を記入してください。)

全 体

*各系が指定する教科

数学Ⅲの履修状況
(科学教育コース 数学教育系のみ記入)

数学Ⅲの履修学年

数学Ⅲの代替科目又は対応科目
(理数数学Ⅰ・Ⅱ等)

年

志 願 者 の 資 質 ・ 能 力
A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する

評 価
該当する記号を○で囲んでください。

知 識 ・ 技 能

A ・ B ・ C

思 考 ・ 判 断 ・ 表 現

A ・ B ・ C

主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度

A ・ B ・ C

* 出願資格で全体の学習成績の状況以外に、個別の教科に関して学習成績の状況が指定されている系は記入をしてください。なお、必要に応じて2段に分けて記入しても構いません。

推薦書（裏面：両面印刷してください。）

[illegible]

【記入にあたってのお願い】

- (1) 全体の学習成績の状況は、高等学校生徒指導要録に基づき、全ての教科・科目の評定の合計数を全ての評定数で除した数値（小数点以下第2位を四捨五入）を記入してください。
- (2) 推薦理由については、志願者が教員を目指す強い意志と資質・能力を兼ね備えていることを、「志願者の資質・能力の評価」とも絡めながら記入してください。
- (3) 科学教育コース数学教育系に志願する方で、専門教育を主とする学科等に在籍している方は、「数学Ⅲ」の代替科目又は対応科目欄に、「理数数学Ⅰ」、「理数数学Ⅱ」などの代替科目又は対応科目を記入してください。

学校長 殿

山梨大学

学校長推薦書の作成について（依頼）

本学医学部学校推薦型選抜では、課外活動等にも積極的に参加して充実した高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校生活を送り、人物、学力ともに優秀で、本学を志願する明確な動機と医学の分野で社会に貢献しようとする強い意欲を持った生徒の推薦を求めています。

推薦の趣旨をご理解いただき、高等学校3年間の評価に基づく学校長推薦書を、下記の作成要領に従って作成していただきますようお願い致します。

作 成 要 領

1 推薦する理由

本人を推薦する理由、医学又は看護学を学ぶ能力・適性があると認められる理由及び該当学科を志願する理由を具体的に記入してください。

2 課外活動・クラス役員など

次の(1)～(5)につき、具体的に記入してください。（箇条書きでもかまいません。）

- (1) 各学年のホームルームにおける役員名と活動状況
- (2) 全校的な役員をしたことがあれば、その学年、役員名と活動状況
- (3) 所属クラブ等の名称と活動状況
- (4) 校外での活動があれば、その加入団体名と活動状況
- (5) 特技、その他の特記すべきこと

3 その他

学校長推薦書様式（Word形式）は、本学ホームページからダウンロードできます。

受 験 番 号
※大学側で記入します。

学 校 長 推 薦 書 (医学部)

作 成 日 年 月 日

山 梨 大 学 長 殿

学 校 名

学校長氏名

職印

下記の者を、貴大学医学部 学科の学校推薦型選抜志願者としてふさわしい者と認め、出願資格を満たすことを確認し、責任をもって推薦します。なお、下記の者は、本年度において、国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、貴大学医学部 学科のみです。

記

氏 名

年 月 日 生

年 月 ☐卒業 ☐卒業見込

推薦理由（医学又は看護学を学ぶ能力・適性があると認められる理由及び当該学科を志願する理由を記載してください。）

特記事項（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、特技等について記載してください。）

記載責任者

印

誓約書

作成日 年 月 日

山梨大学長殿
山梨県知事殿

私は、山梨大学医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）に出願するにあたり、入学を許可された上は、地域枠の趣旨である山梨県内の医師不足解消を目的に、卒業後に山梨県内の指定医療機関への就業義務があることを理解し、下記の事項を遵守することを誓います。

記

- ① 事前に山梨県のホームページで山梨県医師修学資金貸与制度（第二種）を確認し、制度の内容を理解しています。
- ② 入学試験に合格した場合は入学することを確約し、山梨県医師修学資金貸与制度（第二種）を利用するための契約を山梨県と締結します。
- ③ 医師修学資金を返還しても、山梨県内の指定医療機関での就業義務が消えないことを理解しています。また、医師免許取得後、死亡又は重大な心身の故障等により医業に携わることができない場合を除き、結婚、介護、子育て、家業の継承等、多くの者が経験する事情では就業義務が消えないことを理解しています。
- ④ 卒業後2年以内に医師免許を取得し、医師免許取得後15年間のうち9年間を山梨県内の指定医療機関において診療に従事します。
- ⑤ 臨床研修（医師免許取得後最初の2年間）は、必ず山梨県内の研修病院で行います。
- ⑥ 医師免許取得後15年以内（災害・疾病等のやむを得ない理由により診療に従事することができない期間は、15年に算入しない）に専門研修を受ける場合には、必ず山梨県内の病院で行います。
- ⑦ 大学在籍中は、継続して山梨県地域枠等医師キャリア形成卒前支援プランに参加し、医師国家試験合格後、山梨県が作成したキャリア形成プログラムに基づき地域医療に従事する旨の契約を山梨県と締結し、違反した場合は違約金を支払います。
- ⑧ 上記に違反した場合、出身高等学校に連絡が行く可能性があることを理解しています。

志願者氏名（自筆）

印

保護者氏名（自筆）

印

学校長推薦書作成上の注意事項

1. 選抜区分・志望コース

- 出願する選抜区分の記号を○で囲んでください。「A 一般枠」と「B 女子枠」を併願する場合は、両方を○で囲んでください。
- 志望するコースの名称を記入してください。

2. 学習成績の状況

- 「全体」欄には、調査書の「学習成績の状況」欄に記載された全体の数値（高等学校生徒指導要録に基づき、全ての教科・科目の評定の合計数を全ての評定数で除した数値（小数点以下第2位を四捨五入）を記入してください。
- 「理科」欄には、全体の数値で出願資格を満たしている場合でも、理科の数値を記入してください。

3. 推薦理由

- 志望コースで学ぶ適性・意欲があると認められる理由を、できるだけ客観的・具体的に記載してください。

4. その他

- 本学所定の様式により作成し、必ず厳封したものを提出してください。
- 例年、志願者の生年月日や卒業（卒業見込）年月を西暦で記入する場合に間違いが多く見られますので、ご注意ください。

受 験 番 号
※大学側で記入します。

学 校 長 推 薦 書 (工学部)

作 成 日 年 月 日

山 梨 大 学 長 殿

学 校 名

学校長氏名

職印

下記の者を、貴学工学部工学科の学校推薦型選抜Ⅰ志願者としてふさわしい者と認め、出願資格を満たすことを確認し、責任をもって推薦します。なお下記の者は、本年度において、国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、貴学工学部工学科のみで、合格した場合の入学を確約します。

記

氏 名

年 月 日 生

年 月 ☐卒業 ☐卒業見込

選抜区分

A 一般枠 B 女子枠

出願する選抜枠の記号を
○で囲んでください
(併願の場合は両方)

志望コース

コース

学習成績の状況

(文部科学省大学入学者選抜実施要項「調査書記入上の注意事項等について」
に基づき算出し、記入してください。)

全 体

理 科

推薦理由 (志望コースで学ぶ適性・意欲があると認められる理由を、できるだけ客観的・具体的に記載してください。)

記載責任者

印

(令和8年度 工学部 学校推薦型選抜Ⅰ 女子枠)

受 験 番 号
※大学側で記入します。

志 望 理 由 書

氏 名

出身学校名

志望コース

コース

男女ともに輝ける社会を創造するために工学系出身者が貢献すべきことや、ダイバーシティの観点から大学で学ぶべきこと、身に付けたいことなどに関する考えについて記入してください。

学校長推薦書作成上の注意事項

1. 学習成績の状況

- 「全体」欄には、調査書の「学習成績の状況」欄に記載された全体の数値（高等学校生徒指導要録に基づき、全ての教科・科目の評定の合計数を全ての評定数で除した数値（小数点以下第 2 位を四捨五入）を記入してください。
- 「理科」欄には、全体の数値で出願資格を満たしている場合でも、理科の数値を記入してください。

2. 志願者の資質・能力

- 各項目について「A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する」から該当する記号を○で囲んでください。

3. 推薦理由

- 推薦する根拠をできるだけ客観的・具体的事実に基づき、「人物・生活態度」の評価とも絡めながら記入してください。

4. その他

- 本学所定の様式により作成し、必ず厳封したものを提出してください。
- 例年、志願者の生年月日や卒業（卒業見込）年月を西暦で記入する場合に間違いが多く見られますので、ご注意ください。

学 校 長 推 薦 書 (生命環境学部)

作 成 日

年 月 日

山 梨 大 学 長 殿

学 校 名

学校長氏名

職印

下記の者を、貴学生命環境学部生命工学科の学校推薦型選抜Ⅰ志願者としてふさわしい者と認め、出願資格を満たすことを確認し、責任をもって推薦します。なお下記の者は、本年度において、国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、貴学生命環境学部生命工学科のみで、合格した場合の入学を確約します。

記

氏 名

年 月 日 生

年 月

☐卒業
☐卒業見込

学習成績の状況

(文部科学省大学入学者選抜実施要項「調査書記入上の注意事項等について」
に基づき算出し、記入してください。)

全 体

理 科

志 願 者 の 資 質 ・ 能 力

A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する

評 価

該当する記号を○で囲んでください。

知 識 ・ 技 能

A ・ B ・ C

思 考 ・ 判 断 ・ 表 現

A ・ B ・ C

主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度

A ・ B ・ C

推薦理由

記載責任者

印

お問い合わせ先

山梨大学 教学支援部 入試課

住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37
TEL / FAX	055-220-8046 / 055-220-8795
メール	nyushi@yamanashi.ac.jp
ホームページ	https://www.yamanashi.ac.jp
Web 出願サイト	https://syutugan.yamanashi.ac.jp
窓口対応時間	平日(月～金) 8:30～12:00・13:00～17:15 * 土・日・祝日、夏季一斉休業(8/14～18)、 年末年始(12/29～1/3)を除く